



Veritas Backup Exec™ 20.3

ライセンスガイド(第1.1版)

• 改定履歴

版数	発行日	改定履歴
Backup Exec 20.1 ライセンスガイド第1.2版	2018年5月	初版発行
Backup Exec 20.1 ライセンスガイド第1.3版	2018年7月	Backup Exec SSO構成例の重複ページを削除
Backup Exec 20.2 ライセンスガイド第1版	2018年9月	- Silver Editionの仮想テープライブラリ装置(VTL)のサポートに伴い、関連箇所の記載を修正 - Backup Exec 20.1に関する記載をBackup Exec 20.2に修正 - 関連URLの更新 - ベーシックメンテナンス費用の価格改定に伴う価格表の修正
Backup Exec 20.3 ライセンスガイド第1版	2018年11月	- バージョン番号を20.3に修正、リンク先情報の更新 - 複数年一括購入年数を最大7年から5年に変更
Backup Exec 20.3 ライセンスガイド	2019年3月	日本語サポートの営業開始時間を8時から9時に変更（2019年2月21日から）

本資料は、ベリタスの営業部門およびチャネルパートナー様によるVeritas Backup Exec™20.3の販売と見積もりを支援し、利用可能なライセンス、サポート／メンテナンスプログラム、およびオプションに関するリファレンスガイドとして役立つことを目的としています。

目次

1. Veritas Backup Exec™ の製品概要	4
2. パッケージとライセンスの概要	6
3. 容量ライセンスへの移行	34
4. アップグレードとその条件	38
5. サポート/メンテナンスサービスの提供	41
6. 追加情報	48
付録1：単体ライセンスでのライセンス構成例	50
付録2：価格表(コーポレート)	76

注) 本資料の記載内容は、2018年11月現在のものです。製品仕様/価格などの内容は、予告無く変更される場合があります。

本資料を含む Backup Exec の各種資料は以下で公開されています

■バックアップ製品の日本語情報ページ

<http://info.veritas.com/japan-product-resources>

■Backup Exec 製品紹介ページ – BACKUP EXEC のリソース

<https://www.veritas.com/ja/jp/product/backup-and-recovery/backup-exec/resources>

※) 各種日本版資料は「その他のリソース」に掲載されています。

1. Veritas Backup Exec™の製品概要

Veritas Backup Exec™は、高性能で、柔軟性があり、使いやすいバックアップ／リカバリソリューションです。プラットフォームが仮想、物理、またはクラウドのいずれであっても、インフラ全体を保護します。Backup Exec により、あらゆるレベルで、データとシステムの迅速で信頼性の高いバックアップとリカバリを実現します。最新リリースの VMware や Hyper-V との高度な統合も可能です。仮想マシン、アプリケーション、データベース、ファイル、フォルダ、アプリケーションの個別オブジェクトを含むあらゆるものを迅速にリカバリします。1 台から数百台までの仮想マシンとサーバーをすべて同じユーザーコンソールから保護できるため、高いパフォーマンスと効率を実現できます。Backup Exec により、時間とコストが節約されます。また、重要な情報は常に保護され、簡単にリカバリできます。

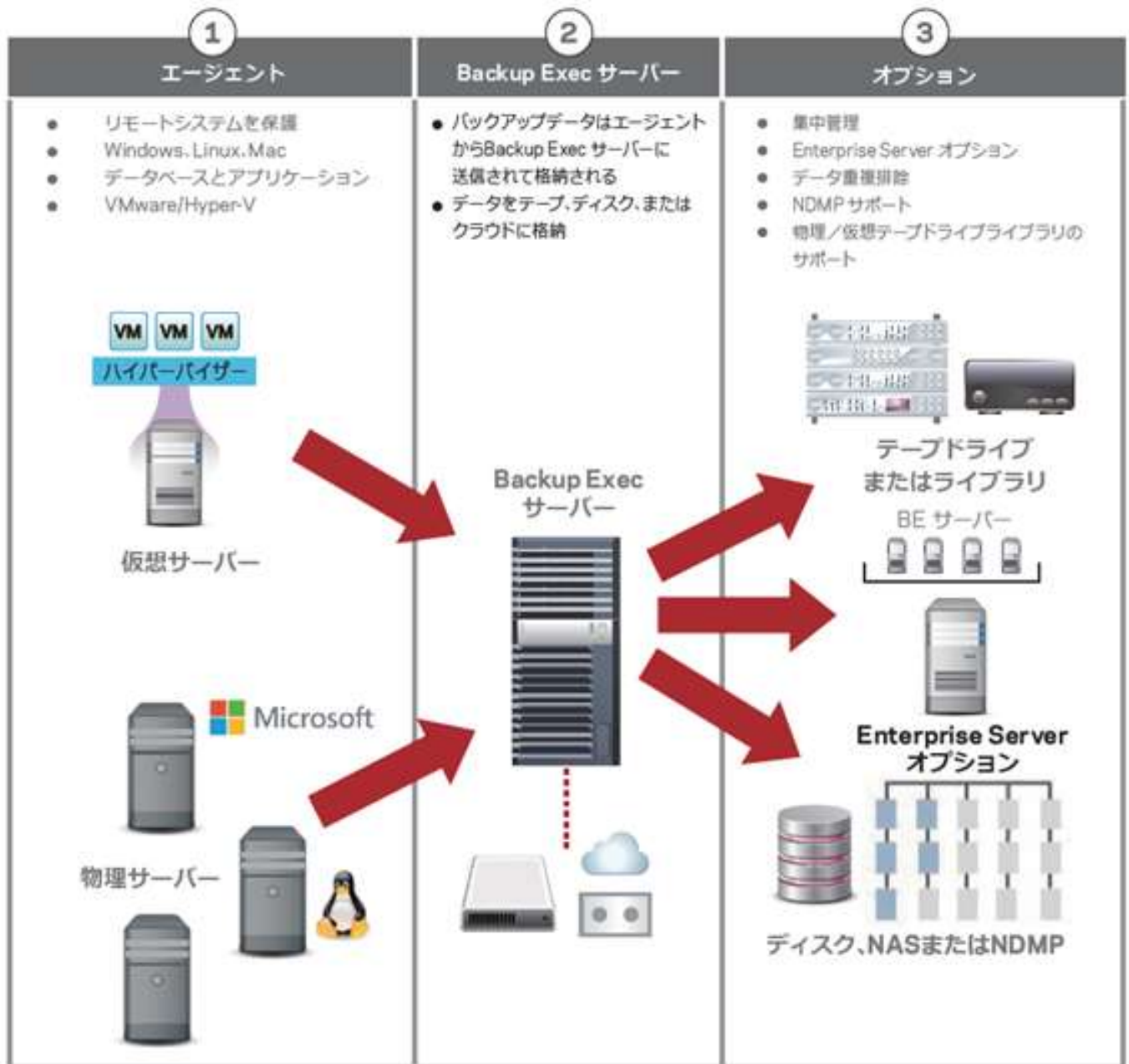
高性能： Backup Exec により、バックアップとリカバリの性能が向上します。あらゆるレベルで、データとシステムの迅速で信頼性の高いバックアップとリカバリを実現し、最新リリースの VMware や Hyper-V との高度な統合にも対応しています。データの増加という課題にも、データの変化の大きさに関係なく対応できます。さらに、長いダウンタイムを回避し、バックアップ時間帯に収めることが可能です。

柔軟： すべてのバックアップソリューションが、小回りの利くリカバリを提供しながら環境を保護する柔軟性を備えているとは限りません。Backup Exec は、物理/仮想/クラウドのアーキテクチャを保護し、あらゆるものをすべてのストレージデバイスにバックアップし、どこへでもリストアできます。仮想マシン からサーバー全体、アプリケーション、または単一ファイルやフォルダまで、Backup Exec は 1つのソリューションであらゆるニーズに対応できます。

使いやすい： 複雑なバックアップ／リカバリ製品は、非効率的で時間がかかり、管理コストが高額になる可能性があります。Backup Exec には、直感的なウィザードと適切に情報を把握できるダッシュボードが用意されており、以前のバージョンからのアップグレードであれ競合製品からの移行であれ、簡単に実装、使用、管理できます。

Backup Exec を使えば、時間とコストが節約され、機密データが保護されます。また、すべての重要な情報が常にバックアップされ、リカバリ可能です。

概要図：



2. パッケージとライセンスの概要

ライセンスモデル

Backup Exec は使いやすく、ライセンス取得も簡単です。

Backup Exec には以下の種類のライセンスモデルがあり、お客様の用途に最適なライセンスをご利用いただけます。

- ・単体ライセンス (Custom Edition)
- ・容量ライセンス Bronze/Silver/Goldサブスクリプションおよび永続ライセンス
- ・容量ライセンス Capacity Edition / Capacity Edition Lite
- ・仮想環境用CPUライセンス V-Ray Edition

販売形態

Backup Exec のご提供形態は、永続的に利用可能なソフトウェアライセンス、またはソフトウェアを借りて利用した期間に応じて支払うサブスクリプションライセンスの使用許諾契約となります。

Backup Exec の基本的な販売形態はライセンス販売です。

お客様と販売店様は申込書に必要事項を記入してご発注いただくだけで、電子メールにより最短の納期でライセンス情報を受領できます。

(※)申込書に不備が無い場合、弊社での受注完了後、最短 2 営業日でメール納品

お客様は、電子メールで受領したライセンス情報を元に、専用 WEB サイト「Veritasサポート」から、インストールに必要なライセンスファイルやインストールファイルをすぐにダウンロードいただけます。そのため、物理的なインストールメディアのご購入は必須ではありません。
物理的なインストールメディアが必要なお客様のためには、「メディアキット」も販売しております。

これまで同様のボックスパッケージ形態での販売「ビジネスパック」もあります。

ライセンス情報とインストールメディアが紙製パッケージに同梱されており、入手後すぐにご利用いただけます。

容量ライセンス

Backup Exec の容量ライセンスには、バックアップソリューションに必要とされる保護のレベルと機能に合わせた 3 種類があり、お客様に最適なライセンスをお選びいただけます。

- Bronze/Silver/Gold 永続/サブスクリプション容量ライセンス
各エディションに含まれる機能レベルは以下の通りです。

製品機能		Bronze	Silver	Gold
		フロントエンド TB単位	フロントエンド TB単位	フロントエンド TB単位
保護対象	仮想/物理	✓	✓	✓
対象プラットフォーム	Windows	✓	✓	✓
	Linux	(※4)	✓	✓
	VMware	✓	✓	✓
	Hyper-V	✓	✓	✓
アプリケーション保護	Microsoft Exchange		✓	✓
	Microsoft SQL Server		✓	✓
	Microsoft SharePoint		✓	✓
	Active Directory (※1)		✓	✓
	Oracle		✓	✓
	Enterprise Vault		✓	✓
その他機能	物理環境から仮想環境への変換	✓	✓	✓
	重複排除	✓	✓	✓
	一元管理			✓
	物理テープライブラリサポート	スタンドアロンテープ 装置のみ	4ドライブ (※2)	ドライブ数無制限
	仮想テープライブラリサポート		✓	ドライブ数無制限
	NDMPサポート			✓
	サーバ構成のコピー			✓
サポート	24時間365日対応サポート (※3)	✓	✓	✓

※1) Active Directory 全体のバックアップとリカバリは、Windows エージェントでサポート可能

※2) Silver は最大 4 台のテープドライブを最大 4 台のスタンドアロンテープ装置、オートローダ機能付きテープ装置または仮想テープライブラリ装置で使うことができます

※3) 永続ライセンスは今まで通り、ベーシックメンテナンス (BM)、エッセンシャルサポート (ES) をお選びいただけます

※4) VMware & Hyper-V エージェントを利用した仮想マシンバックアップであれば仮想環境上の Linux マシンのバックアップ、リストアが可能です。ただし、仮想マシンへの Linux エージェントのインストールはできません。

- Bronze/Silver/Gold 永続/サブスクリプション容量ライセンス
各エディションに含まれるエージェント/オプションは以下の通りです。

課金単位	フロントエンド TB単位	フロントエンド TB単位	フロントエンド TB単位
エージェントおよび機能	Bronze	Silver	Gold
Backup Execサーバー	✓	✓	✓
Windowsエージェント	✓	✓	✓
VMware & Hyper-Vエージェント	✓	✓	✓
重複排除オプション	✓	✓	✓
テープドライブ	スタンドアロン テープ装置 1台	4ドライブまで	ドライブ数無制限
ロボットテープライブラリ装置（物理）		✓	✓
仮想テープライブラリ装置		✓	✓
アプリケーション&データベースエージェント		✓	✓
Linuxエージェント		✓	✓
Linux Server リモートメディアエージェント			✓
Enterprise Serverオプション（統合管理 も含む）			✓
NDMPオプション			✓

- Backup Execサーバーが複数サイトにインストールされている環境で容量を共有するには、すべてのサイトで同じエディションが必要となります。詳細については、容量ライセンスの割り当てを参照してください。
- エージェントおよびオプションを個別にBronze/Silver/Gold Editionに追加することはできません。
- 保護対象のデータ量が、ライセンスされた容量を30日間連続して15%以上超えると、バックアップが実行できなくなります。但し、リストアのみは実行可能です。
- Backup Execは、サブスクリプションが期限切れになる60日、30日、および残り5日の間、アラートを出します。
- Bronze Editionは、スタンドアロンテープ装置1台（ロボット機構のないテープ装置）のみをサポートします。
- Silver Editionは、最大4台のテープドライブを最大4台のスタンドアロンテープ装置、オートローダ機能付きテープ装置または仮想テープライブラリ装置で使用することができます。
- 永続ライセンスは今まで通り、ベーシックメンテナンス(BM)、エッセンシャルサポート(ES)をお選びいただけます。

- 新・旧ライセンスのテープドライブの取り扱いの違い
各エディションで利用可能なテープ装置の種類とライセンスカウント方法は以下の通りです。

テープ装置の種類	説明	Bronze/Silver/Gold Edition (サブスクリプションまたは永続ライセンス)	単体ライセンス (Custom Edition) および V-Ray Edition	Capacity Edition	Capacity Edition Lite
スタンドアロンテープ装置	ライブラリ機能のないスタンドアロンテープ装置へのバックアップ	Bronze: 1ドライブまで Silver: 最大4ドライブ (スタンドアロン、ライブラリ装置) Gold: ドライブ数無制限	台数無制限のスタンドアロンテープ装置をサポート	台数無制限のスタンドアロンテープ装置をサポート	台数無制限のスタンドアロンテープ装置をサポート
ロボット機能付き物理テープライブラリ装置	ロボット機能付き物理テープライブラリ装置へのバックアップ	Bronze: 不可 Silver: 最大4ドライブ (スタンドアロン、ライブラリ装置) Gold: ドライブ数無制限	テープライブラリ内の1台目のドライブ用のライセンスは、Backup Exec Serverに含まれます。2台目以降の各ドライブは、ドライブごとに追加のLibrary Expansion オプション (LEO) を必要とします。	台数無制限のテープドライブを複数のテープライブラリ装置で使用が可能	テープライブラリ内の1台目のドライブ用のライセンスは、Backup Exec Serverに含まれます。
仮想テープライブラリ装置	仮想テープライブラリ装置へのバックアップ	Bronze: 不可 Silver: 最大4ドライブ (スタンドアロン、ライブラリ装置) Gold: ドライブ数無制限 (複数の仮想テープライブラリ装置の使用が可能)	仮想テープライブラリ内の1台目のドライブ用のライセンスは、Backup Exec Serverに含まれます。2台目以降の各ドライブは、VUDO (VTL Unlimited Driveオプション) ライセンスを購入することで台数無制限にテープドライブをサポートします。VUDOのライセンスがない場合は、各VTLは物理テープライブラリと同じ方法でLEOを購入する必要があります。	台数無制限のテープドライブを複数の仮想テープライブラリ装置で使用が可能	仮想テープライブラリ内の1台目のドライブ用のライセンスは、Backup Exec Serverに含まれます。

注)

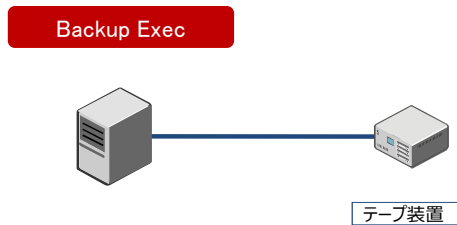
・従来のライセンスにあるBackup Execサーバーの基本ライセンスに含まれている1台目のテープドライブ用のライセンスは、Bronze/Silver/Gold Editionのライセンス体系には含まれていません。

・Bronze/Silver/Gold Edition では、テープドライブ数の上限は購入した容量とは関係なく、Backup Execサーバー(管理サーバー)の台数で決まります。

例えば、10TB分のライセンスを購入した場合、Backup Execサーバー 1台の環境では、Bronze Editionはスタンドアロンテープ装置は1台のみ利用できます。Silver Editionは、複数のテープライブラリ装置または仮想テープライブラリ装置で最大4ドライブまで利用できます。Backup Execサーバー5台であれば、Bronze Editionはスタンドアロンテープ装置5台まで(BEサーバーにつき1台)、Silver Editionであれば20ドライブまでのテープライブラリ装置または仮想テープライブラリ装置が利用できます(BEサーバーにつき最大4ドライブ)。

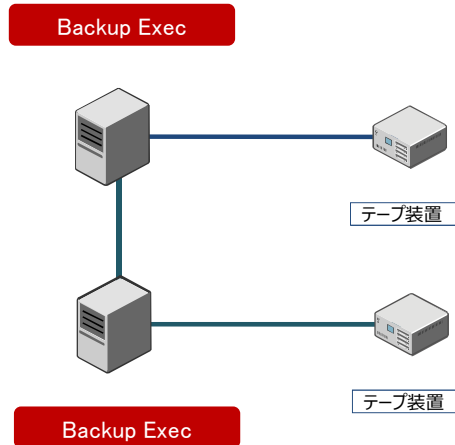
<Backup Exec Bronze Edition テープ装置 構成例>

Backup Exec サーバーを 1 台で構成した場合



Note: Bronze Edition ライセンスでは、1台の Backup Exec 管理サーバーに対してスタンドアロンテープ装置が1台利用可能です。テープライブラリ装置は、利用いただくことは出来ません

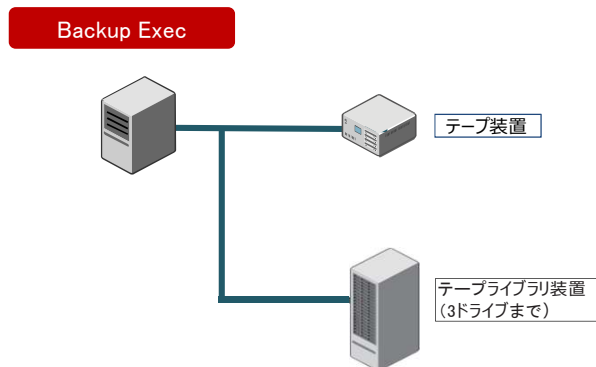
Bronze Edition を 2TB 以上購入、2台以上の Backup Exec サーバーで構成した場合



Note: Bronze Edition ライセンスでは、容量 1TB に対して Backup Execサーバー管理サーバーが 1 ライセンス利用可能です。例えば 2TB の容量を購入いただいた場合、Backup Exec 管理サーバーを 2 台設置可能です。それぞれの管理サーバーに、スタンドアロンテープ装置が利用可能です。

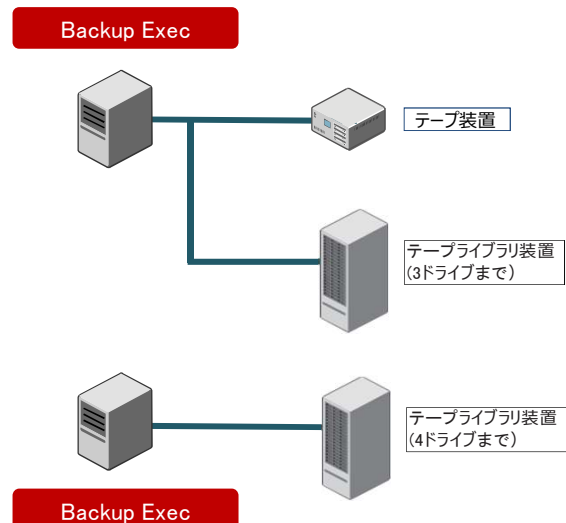
<Backup Exec Silver Edition テープ装置 構成例>

Backup Exec サーバーを1台で構成した場合



Note: Silver Edition ライセンスでは、1台の Backup Exec 管理サーバーに対してスタンドアロンテープ装置、物理テープライブラリ装置、仮想テープライブラリ装置 (VTL) の組み合わせで合計 4 ドライブまで利用可能です。

Silver Edition を 2TB 以上購入、2台以上の Backup Exec サーバーを設置した場合



Note: Silver Edition ライセンスでは、容量 1TB に対して Backup Execサーバー管理サーバーが 1 ライセンス利用可能です。例えば 2TB の容量を購入いただいた場合、Backup Exec 管理サーバーを 2 台設置可能です。管理サーバーが複数台設置された場合、各管理サーバー単位で最大 4 ドライブまで利用可能です。

Bronze/Silver/Goldのライセンスには、Backup Exec サーバー、エージェント、オプションを台数無制限に導入する権利が含まれていますが、フロントエンドTB(バックアップ対象データ量)がライセンスで指定されるデータ量(TB単位)を超えないことが条件です。「フロントエンドTB」は、保護対象となる非圧縮データ(つまり、重複排除されていないデータ)のサイズとして定義されます。保護が必要なデータのサイズに合わせて、TB単位で必要な容量を購入できます。

バックアップ対象データ量の増加に応じ、段階的にボリュームディスカウントが適用されます。以下にBronze/Silver/Goldのボリュームディスカウントにおけるデータ量の範囲(Tier)を示します。(一回の購入時の合計容量に対して適用されます)

一回のご発注分の合計容量の範囲による Bronze/Silver/GoldのTier
1から5TB
6から15TB
16から25TB
26から50TB
51TB以上

注) 各Backup Execサーバーには、少なくとも1TBのライセンスが必要なため、Backup Execサーバーの台数は、購入したTB数を超えることはできません。

容量ライセンス (Bronze/Silver/Gold)のシナリオの例

例A: Bronze Editionライセンス購入のシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・3TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・Windowsファイルサーバのみのバックアップ(アプリケーション、データベースのバックアップは不要) ・重複排除機能が必要	Backup Exec Bronze Edition x 3 (ディスカウントTierは1TBから5TB)

例B: Silver Editionライセンス購入のシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・10TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・Windows/Linux混在環境 ・SQLとExchangeのバックアップ ・重複排除機能が必要	Backup Exec Silver Edition x 10 (ディスカウントTierは6TBから15TB)

例C: Gold Editionライセンス購入のシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・7TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・バックアップサーバの統合管理 ・コールドDRサイトへのデータの最適化複製	Backup Exec Gold Edition x 7 (ディスカウントTierは6TBから15TB)

例D: Bronze Editionライセンス購入のシナリオ (DRサイトにデータをレプリケート)

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・2TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・ISP/パートナーがホストしているコールドDRサイトへのデータの複製	Backup Exec Bronze Edition x 2 (ディスカウントTierは1TBから5TB)

例E: Silver Editionライセンス購入のシナリオ (追加購入)

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・10TBのSilverライセンスに2TB追加	Backup Exec Silver Edition x 2を追加購入 (ディスカウントTierは1TBから5TB)

Capacity Edition/Capacity Edition Lite(従来の容量ライセンス)

Capacity Edition / Capacity Edition Liteは、必要な機能の一つのライセンスで簡便に入手することができる容量課金のライセンスです。

各エディションに含まれる機能:

製品機能	Capacity Edition Lite	Capacity Edition
	フロントエンドTB単位	フロントエンドTB単位
仮想環境	●	●
物理環境	●	●
クラウド	●	●
Windows	●	●
Linux	●	●
VMware	●	●
Hyper-V	●	●
Microsoft Exchange	●	●
Microsoft SQL Server	●	●
Microsoft SharePoint	●	●
Active Directory (※)	●	●
Oracle	●	●
Enterprise Vault	●	●
オープンファイルのバックアップ	●	●
Windowsシステムのリカバリ	●	●
物理から仮想への変換 (P2V)	●	●
仮想マシンのインスタントリカバリ	●	●
集中管理		●
高度なディスクバックアップ		●
重複排除		●
物理テープドライブライブラリのサポート	単一ドライブ	複数ドライブ
仮想テープライブラリのサポート	単一ドライブ	複数ドライブ
NDMPのサポート		●

(※)Active Directory 全体のバックアップ/リカバリは、Windows エージェントでサポート可能

各エディションに含まれるエージェント／オプション:

本体/エージェント/オプション	Capacity Edition Lite	Capacity Edition
Backup Exec サーバー	●	●
Windows エージェント	●	●
アプリケーション & データベースエージェント	●	●
Linux エージェント	●	●
VMware & Hyper-V エージェント	●	●
重複排除オプション	—	●
Enterprise Server オプション	—	●
Library Expansion オプション	—	●
VTL Unlimited Drive オプション	—	●
NDMPオプション	—	●
Linux Server リモートメディアエージェント	—	●

Capacity Edition / Capacity Edition Liteのライセンスには、Backup Exec サーバー、エージェント、オプションを台数無制限に導入する権利が含まれていますが、フロントエンドTB(バックアップ対象データ量)がライセンスで指定されるデータ量(TB単位)を超えないことが条件です。「フロントエンドTB」は、保護対象となる非圧縮データ(つまり、重複排除されていないデータ)のサイズとして定義されます。保護が必要なデータのサイズに合わせて、TB単位で必要な容量を購入できます。

バックアップ対象データ量の増加に応じ、段階的にボリュームディスカウントが適用されます。以下にボリュームディスカウントにおけるデータ量の範囲(Tier)を示します。
(一回の購入時の合計容量に対して適用されます)

No.	一回のご発注分の合計容量の範囲による Capacity Edition / Capacity Edition LiteのTier
1	1TB
2	2から5TB
3	6から15TB
4	16から25TB
5	26TB以上

Capacity Edition/Capacity Edition Liteの追加資格について

Capacity Edition / Capacity Edition Liteのお客様は、Gold Edition / Silver Editionの永続ライセンスを取得する権利が与えられます。お客様は、Veritasサポート（VEMSポータル）からソフトウェアのダウンロード、ライセンスキーファイルの入手が可能です。VEMSのポータルには、「BE20.0 Gold/Capacity Edition」または「BE20.0 Silver/Capacity Lite Edition」と表示されます。

追加資格のサマリ

既存製品	ライセンス メーター	数量	追加資格	ライセンス メーター	数量
Capacity Edition	FETB	1	Gold Edition	FETB	1
Capacity Edition Lite	FETB	1	Silver Edition	FETB	1

容量ライセンス (Capacity/Capacity Lite)のシナリオの例**例A: 重複排除バックアップのシナリオ**

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・3TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・重複排除が必要	・Backup Exec Capacity Edition (2～5TB) x 3

例B: 最適化された重複排除での複製を用いたDRシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・7TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・データをコールドDRサイトに最適化複製する必要がある	・Backup Exec Capacity Edition (6～15TB) x 7

例C: プライベートクラウドシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・2TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・ローカルISP/パートナーがホストするコールドDRサイトにデータを最適化複製する必要がある	・Backup Exec Capacity Edition (2～5TB) x 2

例D: 基本的な構成のシナリオ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・1TBのデータ(年間のデータ増加分を含む) ・特別なバックアップニーズなし	・Backup Exec Capacity Edition Lite (1TB) x 1

容量ライセンスに関する一般的なFAQ

Q. 何 TB 購入すればよいですか？

A. 今後 1 年以内にバックアップするフロントエンドデータ(非圧縮で重複排除されていないデータ)の量に応じたライセンスを購入する必要があります。バックアップする必要があるデータの量が増加すると思われるものの、どの程度増加するかがわからない場合は、一般的な目安として 20% のデータ増加率を考慮し、その量を購入する合計 TB に含めることをお勧めします。以下の表を目安として参照してください。

現在のTB	推奨される購入TB
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
10	12

Q. 5TB 購入し、その後の追加購入が必要になった場合はどうなりますか？ このような追加購入はボリュームディスクカウントの対象となりますか？

A. いいえ。各発注ごとの合計 TB 数で TB 当たりの単価は決まります。

Q. Bronze Editionを検討中で、後からオートローダーを追加する可能性がある場合、単体ライセンスを追加購入することは可能か？

A. できません。容量ライセンスを他のライセンスモデル(単体ライセンス、V-Ray Edition)と組み合わせることはできません。この場合は、Library Expansionオプションが必要であれば、Bronze Editionではなく、SilverまたはGold Editionを購入してください。

Q. メインサイトが 1 つ、リモートサイトが 2 つあります。メインサイト用に Gold Editionを購入し、リモートサイト用にSilver Editionを購入できますか？

A. いいえ。連携するすべてのサイトに対して同じ種類の容量ライセンスを購入する必要があります。システム全体で必要とするフロントエンドTB分のライセンスを購入し、それぞれのサーバーに容量を割り当てることができます。サーバーは統合管理されている必要はありません。詳細は、「容量ライセンスの割り当て」のセクションをご参照ください。

Q. BronzeまたはSilver Editionを購入し、その後、より多くの機能が必要になった場合、SilverまたはGold Editionにアップグレードできますか？

A. はい。Bronze EditionからSilver Edition、Silver EditionからGold Edition、Bronze EditionからGold Editionにアップグレードできます。アップグレードを簡単に行うためのクロスグレード SKU を用意しています。

Q. 単体ライセンスの有効なメンテナンス契約を保有していますが、Bronze, SilverまたはGold Editionに切り替えたいと考えています。これは可能ですか？

A. はい。容量ライセンスではない旧 Backup Exec ライセンスをご購入で、有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様は、容量ライセンスの製品に簡単に移行できます。「容量ライセンスへの移行」に関するセクションを参照してください。

Q. 他に利用可能なライセンスオプションはありますか？

A. はい。これまでの単体ライセンスも引き続き利用可能です。詳しくは「従来のパッケージとライセンス」のセクションを参照してください。

Q. Backup Execの管理コンソールに表示される「利用可能」ライセンスと「割り当て済み」ライセンスの違いは何でしょうか？

A. Backup Execでは必要とする総容量分のフロントエンドTBのライセンスを購入して、それぞれのBackup Execサーバーに異なる容量を割り当てることができます。こうすることで、段階的なボリュームディスクカウントを上手に利用することができます。例えば、15TB分のボリュームディスクカウントを利用して、複数のBackup Execサーバーに割り当てることができます(5TBをサーバーA、3TBをサーバーBとC、4TBをサーバーD)。この例ですと、15TB利用可能な容量をサーバー4台に15TB割り当てたことになります。いずれかのサーバーに容量をさらに追加するには、既存と同じBronze/Silver/Gold Editionのライセンスを購入しなければなりません。この例ですと、2TBの追加ライセンスを購入した場合、17TBが利用可能で、15TBが割り当て済みとなっています。割り当て済みのサーバーは統合管理されている必要はありません。

Q. 契約した容量ライセンスを超える容量を使用した場合、どうなりますか？

A. 契約した容量の15%を30日間連続で超えた場合、バックアップジョブを実行することができなくなります。但し、本製品を使ってバックアップデータのリストアを行うことはできます。バックアップ機能を正常に戻すため、容量ライセンスの追加発注を推奨します。追加発注に関してはご担当営業までご連絡ください。

Q. Capacity Edition / Capacity Edition Liteの有効なメンテナンス契約を保有していますが、Bronze, SilverまたはGold Editionに切り替えたいと考えています。これは可能ですか？

A. 可能です。Capacity Edition / Capacity Edition Liteを保有するお客様は、Gold Edition / Silver Editionを取得する権利が与えられます。Backup Exec 20.3にアップグレードするお客様は、Veritasサポート (VEMSポータル) からソフトウェアのダウンロード、ライセンスキーファイルの入手が可能です。また、Capacity Edition / Capacity Edition Liteを既にご利用のお客様で、Backup Exec 20.3にアップグレードしないお客様は、既存のCapacity Edition / Capacity Edition Liteのライセンスでの更新または容量追加も可能です。

Q. フロントエンドデータの計算に利用可能なツールはありますか？

A. はい。Veritas Capacity Assessment Tool (VCAT) をご利用ください。以下の URL から入手可能です。<http://www.veritas.com/docs/000025175>
Backup Exec の評価版を利用し、実際にバックアップを取得して実用量を確認することも可能です。

Q. 1つのお客様で、容量ライセンスと単体ライセンスを同一バックアップシステム内で混在できますか？

A. できません。1つのバックアップシステム内に2つのライセンスモデルを混在して利用することは出来ません。ただし、Backup Execサーバーとバックアップ対象をそれぞれのライセンスモデルで完全に分離し、独立した別々のバックアップシステムを構築することは可能です。

サブスクリプションライセンスに関するFAQ

Q. Backup Execは月単位で購入できますか？

A. 月単位で購入することはできません。Backup Execのサブスクリプションは、1年、2年、3年という単位での購入となります。支払いは先払いとなります。

Q. Gold Editionを既に購入していて、後でSilver Editionの機能しか必要としない場合、ダウングレードは可能でしょうか？

A. 可能です。サブスクリプションの期間が終了した時点からダウングレードが可能です。サブスクリプション契約途中でのダウングレードはできません。

Q. サブスクリプション契約の更新を行わず、そのまま契約が終了した場合、製品を継続して利用することはできますか？

A. できません。契約を更新しなければ、バックアップジョブを継続して実行することはできません。但し、バックアップデータからのリストアは実行できます。尚、60日、30日、5日前にサブスクリプションライセンスの契約が終了する前に、システムからアラートが通知されます。

Q. 契約期間の調整について。既存のサブスクリプション契約の期間を更新したサブスクリプション契約にあわせることができますか？

A. はい、可能です。契約期間の調整ご依頼については、販売代理店までご連絡ください。契約期間の調整によって、複数のサブスクリプションライセンスの有効期限を揃えることができます。

Q. サブスクリプションの自動更新は可能でしょうか？

A. できません。契約の自動更新には対応していません。サブスクリプションライセンスの更新に関しては販売代理店までご連絡ください。

Q. 永続ライセンスを使用していますが、Bronze, SilverまたはGold Editionのサブスクリプションライセンスに切り替えたいと考えています。これは可能ですか？

A. できません。永続ライセンスからサブスクリプションライセンスへのクロスグレードSKUは提供していません。永続ライセンスをご利用のお客様は、継続して永続ライセンスを購入/更新してください。また、サブスクリプションライセンスから永続ライセンスへのクロスグレードSKUも提供していませんので、サブスクリプションライセンスをご利用のお客様は、継続してサブスクリプションライセンスを購入/更新してください。

Q. 私は永続ライセンスを利用していますが、Backup Execのサブスクリプションにアップグレードすることはできますか？

A. 現時点ではできません。Backup Execのサブスクリプションライセンスは、Backup Execを購入するための新たなライセンスと購入方法です。有効なサブスクリプションライセンスがない限り、アップグレードを行うことはできません。

Q. 私は永続ライセンスを利用していますが、更新するとサブスクリプションとして更新されるのでしょうか？

A. いいえ。永続ライセンスを更新すると、永続ライセンスとして更新されます。

従来のパッケージとライセンス

単体ライセンス (Custom Edition)

物理環境や仮想環境、バックアップニーズに応じて必要なエージェントとオプションを選択し、ニーズに応じたバックアップソリューションを構築および構成できます。

製品	ライセンス単位	詳細
Backup Execサーバー	Backup Execサーバー	Backup Exec サーバーは、バックアップ環境（エージェント／オプション）とバックアップに使用されるすべてのテープ／ディスクのストレージデバイスを管理します。各 Backup Exec 環境に、少なくとも1つの Backup Exec サーバーが必要です。 各 Backup Exec サーバーライセンスには、Backup Exec サーバー自身のローカルの保護用としてWindows エージェントの機能が含まれます。
Windowsエージェント	Windowsサーバー	バックアップ時にオープンされているファイルを保護可能です。システムのディザスタリカバリ用に Simplified Disaster Recovery 用のバックアップを取得できます。 Active Directory のドメインコントローラーも保護可能です。(AD全体のリカバリのみに対応) NASのCIFS共有をWindowsのファイルサーバーと見立ててバックアップする際にも、このライセンスを利用します。 注) CIFS共有をBackup Execサーバーにネットワークドライブとして接続しても、Backup Exec サーバーのローカルのバックアップ対象には出来ません。

製品	ライセンス単位	詳細
アプリケーション & データベースエージェント (略称 App & DB) - この製品セクションは次ページへ続きます -	アプリケーションサーバー 台数/データベースインスタンス数 注) システム内のバックアップ対象の合計数量分購入します。	次のアプリケーションを保護します。 Microsoft SQL Server Microsoft Exchange Server Microsoft SharePoint Active Directory(オブジェクト単位のリカバリ) Oracle Enterprise Vault 各アプリケーション & データベースエージェントライセンスには次のものが含まれます。 ・Windows または Linux エージェント × 1 注1) Linux 上の Oracleの保護時のみ、Linux エージェントを利用可能です。 注2) Windows/Linux エージェントのライセンスを分離して他のサーバーの保護に利用することは出来ません。 <u>Microsoft Exchange Server</u> 個々のメール、フォルダ、メールボックスを数秒でリストアします。1 種類のバックアップジョブで対応できるため、バックアップジョブの種類を減らし、リカバリ時間を短縮します。これにより、完全なExchange リカバリ、個々のメールボックスのリカバリ、個々のメールのリカバリが可能です。2 ノードのアクティブ/パッシブクラスタサーバー構成の場合は、アクティブノードのみライセンスが必要です。 Exchange DAG (Database Availability Group) 環境のライセンスを取得する場合は、Exchange エージェント用のライセンスがDAG内の各 Exchange サーバーで必要になります。Client Access Server (CAS) としてのみ機能する Exchange サーバーにはライセンスは必要ありません。ただし、Windows エージェントがインストールされている必要があります。

製品	ライセンス単位	詳細
アプリケーション & データベースエージェント (略称 App & DB) – この製品セクションは次ページへ続きます –	アプリケーションサーバー 台数/データベースインスタンス数 注) システム内のバックアップ対象の合計数量分購入します。	<u>Active Directory*</u> 個々の Active Directory オブジェクト、ユーザー設定などを、Active Directory ドメインコントローラーを再起動せずにリストアします。2 ノードのアクティブ/パッシブクラスタサーバー構成の場合は、アクティブノードのみライセンスが必要です。 *Active Directory 全体のリカバリは、Windows エージェントで対応できます。
		<u>Microsoft SQL Server</u> ローカルまたはリモートのバックアップ先からデータを迅速にリストアします。最新の変更データをリカバリします。1 種類のバックアップジョブで、完全なインスタンス、個々のデータベース、およびファイルグループのリカバリが可能です。2 ノードのアクティブ/パッシブクラスタサーバー構成の場合は、アクティブノードのみライセンスが必要です。 インスタンス単位で購入します。
		<u>Microsoft SharePoint</u> 個々の SharePoint オブジェクトとドキュメントを数秒で処理するきめ細かなリカバリが可能です。SharePoint Server と SharePoint Services を柔軟にサポートします。ファーム環境の場合、コンテンツデータベースを保護するために 1 エージェントが必要です。SharePoint ファームの追加メンバー (Web サーバー、インデックスサーバー、クエリサーバー、SQL サーバーなど) ごとに、個別の Windows エージェントライセンスが必要になります。2 ノードのアクティブ/パッシブクラスタサーバー構成の場合は、アクティブノードのみライセンスが必要です。 SharePoint ファームにおいて、SQL サーバーが非 SharePoint データもホストする場合、その非 SharePoint データベースデータを保護するためのアプリケーション & データベースエージェントのライセンスも必要になります。

製品	ライセンス単位	詳細
アプリケーション & データベースエージェント (略称 App & DB)	アプリケーションサーバー 台数/データベースインスタンス数 注) システム内のバックアップ対象の合計数量分購入します。	<u>Oracle</u> バックアップとリカバリ操作のための Oracle RMAN テクノロジと統合します。バックアップジョブを作成するだけで、自動的に RMAN スクリプトが生成されます。マルチストリームサポートでパフォーマンスが向上します。Windows プラットフォームと Linux プラットフォームの両方をサポートしています。 インスタンス単位で購入します。
		<u>Enterprise Vault</u> Enterprise Vault アーカイブのデータを保護し、個々の Partition ファイルや Index を数秒でリカバリします。Enterprise Vault アプリケーション向けのバックアップ、リカバリ、アーカイブの統合ソリューションです。このエージェントは、Enterprise Vault サーバー環境(サーバー構成、ボルト、データベース)の保護を提供します。メールのリカバリはできません。

製品	ライセンス単位	詳細
VMware & Hyper-V エージェント	仮想ホストサーバー 注) 複数台の仮想ホストが存在する場合、バックアップ対象の仮想マシンが稼動するすべてのホスト台数分のライセンスが必要	ゲスト仮想マシンのデータを保護します。仮想マシンの台数に制限はありません。VMware vSphere vStorage API およびMicrosoft Volume Shadow Copy Service (VSS)との統合により、バックアップ / リカバリのパフォーマンスが最大化されます。VMware と Hyper-V のきめ細かなデータリカバリにより、時間を節約し、コストを削減します。vStorage API、vCenter、vMotion、ESX/ESXi、VSAN、VVOL、VMware Toolsを含むすべての主要 VMware テクノロジをサポートし、統合します。 Backup Exec が提供するインスタントリカバリは、数分での仮想マシンの起動を可能にするリカバリ手法です。 Granular Recovery Technology (GRT) は、ゲスト仮想マシン全体をリストアせずに、ゲスト仮想マシン内部の個々のファイルとフォルダをリストアする機能を提供します (GRTは Windows ゲストマシンでのみ利用可能です。Linux OS ゲストマシン用の GRT は、VMware の制限のため、現在のところ利用できません)。 VMware & Hyper-V エージェントの各ライセンスには、Windows エージェントと Linux エージェントを無制限に導入する権利が含まれます。これらのエージェントは、特定の ESX/Hyper-V サーバーホスト上の仮想マシンでのみ使用できます。Exchange メールやSQLデータベースなどのアプリケーションデータのきめ細かなリカバリには、適切なアプリケーションエージェントがインストールされていることが必要です。 アプリケーションサーバーには、アプリケーションごとの個別のアプリケーション & データベースエージェントライセンスが必要になります。たとえば、Exchange を実行する 3 つの仮想マシンと SQL を実行する 2 つの仮想マシンがある場合、お客様は、アプリケーション & データベースエージェントを 5 ライセンス購入する必要があります。 特例として、ライセンス対象の Hyper-V のホストとなっている Windows 物理サーバーに、Windows エージェントをインストールして保護する権利も含まれています。

製品	ライセンス単位	詳細
Linuxエージェント	Linuxサーバー	サポート対象の Linux ディストリビューションに対してファイルとフォルダのデータ保護とオープンファイル保護を提供します。Linux のメジャーバージョンを保護します。
Linux Server リモートメディアエージェント (略称 RMAL)	リモートメディアサーバーとして導入される Linux Server	Backup Exec for Windows Server 環境で実行されるLinux サーバーのバックアップに柔軟なストレージ構成を提供します。リモートの Linux サーバーにストレージデバイス(テープまたはディスク)を直接接続、またはSAN環境に接続可能とすることで、ストレージ構成の柔軟性が増し、リモートの Linux サーバーのバックアップジョブに必要なネットワーク帯域幅を削減します。ジョブ構成と管理のための Windows 上の Backup Exec Server が必要です。

製品	ライセンス単位	詳細
Library Expansion オプション(略称 LEO)	テープデバイス (ドライブ) ※) 複数ドライブ 内蔵ライブラリの 2台目以降の テープドライブを 対象に課金	マルチドライブのテープライブラリやオートローダー、または仮想テープライブラリ(VTL)内の追加ドライブをサポートします。それぞれのデバイスへのバックアップ先の割り振りを簡単に管理します。 ライブラリ内の 1 台目のドライブ用のライセンスは、Backup Exec Server に含まれています。2 台目以降の各ドライブは、ドライブごとに追加の Library Expansion オプション(LEO)を必要とします。複数の共有ライブラリがある環境では、各ライブラリの 1 台目のドライブは無料です。2 台目以降の各ドライブには LEO が必要です。仮想テープライブラリ(VTL)は、物理テープライブラリと同じ方法でライセンスを取得する必要があります。または、Virtual Tape Library Unlimited Drive Option (VUDO) を購入できます。なお、スタンドアロンのテープドライブでは LEO は不要です。
VTL Unlimited Driveオプション(略 称 VUDO)	仮想テープライ ブラリ(仮想ライ ブラリ単位) ※) VTLの筐体単 位のライセンスで はないことにご 注意ください。 VTL内の”仮想ラ イブラリ”単位の ライセンスです。	Backup Exec サーバーに接続されている仮想テープライブラリ(VTL)内の 1 台の仮想テープライブラリ内のテープドライブを台数無制限にサポートします。共有されている1つのVTLにVUDOのライセンスがある場合、その1つのライセンスを複数の Backup Exec サーバーで使用できます。ただし、VTLを複数の Backup Exec サーバーで共有するには、Enterprise Server オプションが必要です。VUDOのライセンスがない場合、各VTLは、物理テープライブラリと同じ方法で LEO を購入する必要があります。1 台のテープドライブによるVTLは、物理テープライブラリ/オートローダーと同じ方法でサポートされ、1 台目のドライブは無料になります。 1 筐体のVTL内に複数の仮想ライブラリを構築する場合、仮想ライブラリ単位で VUDO オプションが必要です。

製品	ライセンス単位	詳細
Enterprise Server オプション (略称 ESO)	管理対象の Backup Exec サーバー環境	<u>集中管理サーバー(CASO)</u> 1箇所から複数の Backup Exec サーバーを管理することでシンプルに管理できます。Backup Exec サーバーの負荷分散によってジョブの耐障害性が向上します。お客様は、SAN/iSCSI ハードウェアを複数の Backup Exec サーバーで共有することで、最大限に利用できます。SAN 環境上で、ライブラリ内のテープドライブをさまざまな Backup Exec サーバーと共有します。Backup Exec サーバー間でバックアップデバイスも共有します。複数の Backup Exec サーバーでのテープデバイスの共有時、同時アクセスを制御します。集中管理サーバー、SAN 上でのストレージの共有、および Advanced Disk-based Backup 機能が含まれます。 20台以上の Backup Exec サーバーを管理する場合は、集中管理を実行する Backup Exec サーバーに、SQL Serverのフルバージョン (Express Edition 以外の製品版) をインストールする必要があります。 データとライブラリがSAN環境上に存在していれば、バックアップトラフィックがSANを経由するとお考えのお客様もいらっしゃるかもしれませんが、バックアップトラフィックのためにSANを利用するには、保護されるサーバーを Backup Exec サーバーにアップグレードし、独自のローカルバックアップを実行する必要があります。
		<u>Advanced Disk-based Backup(ADBO)</u> 合成バックアップの機能により、サポートされるリモートリソース(ファイルシステム)に対して定期的なフルバックアップを実行する必要がなくなります。ディレクトリの内容を、フルまたは増分バックアップ時点での状態にリストアします。重要なデータセットの管理とリストアを単純化します。週単位のバックアップ時間を短縮します。 また、バックアップ処理をホストコンピュータから Backup Exec サーバーへ移行できます。オフホストバックアップには、サードパーティのハードウェアスナップショットユーティリティが必要です。 注) ESO で ADBO 機能のみを利用する場合 (CASO/SSO を利用しない場合) は、ESO 1 ライセンスで Backup Exec サーバー 5 台まで ADBO 機能を利用可能
		<u>SAN Shared Storage Option (SSO)</u> SAN接続されている複数の Backup Exec サーバーから SAN経由 (FC/iSCSI) でストレージデバイス(テープ装置、ディスク装置など)に共有してアクセスすることを可能にします。 ・SAN接続でも、BEサーバ1台(テープ装置非共有)の場合、SSOオプションは不要です。

製品	ライセンス単位	詳細
NDMP オプション	NDMP ベースのNAS デバイス(コントロー ラー単位)	NDMP に対応したNetApp、EMC Celerra、および IBM NシリーズなどのNASのバックアップとリストア をサポートします。ダイレクト/リモート/3-Wayの バックアップ方式をサポートします。SAN(ストレ ージエリアネットワーク)構成内を含むリモートロ ケーションに存在する NDMP デバイスを保護しま す。NDMP ファイラーデータをテープに自動で複 製します。ディスクベースのデータ保護用に選択 できるディスクの数が増加します。 クラスタ化された NAS デバイスは、クラスタ内の 「アクティブ」ノードの NDMP ライセンスのみを必 要とします。両方のNASデバイスに保護対象の同 じデータが含まれるためです。
重複排除オプション	Backup Exec サー バー	ストレージとネットワーク帯域幅を最適化して、 データ削減戦略をサポートします。3種類の重複 排除方法をサポートします。 ・クライアント側での重複排除 ・Backup Exec サーバー側での重複排除 ・OST対応ストレージでの重複排除 Backup Exec サーバーでの重複排除と Windows エージェントまたは Linux エージェントがインスト ールされているリモートコンピュータでの重複排除を 組み合わせて利用可能です。また、仮想マシンの バックアップ時に、仮想ディスク内のファイルを認 識することで、重複排除効率を向上させています。

単体ライセンスシナリオの例

例A: Exchangeのオンラインバックアップ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・バックアップ専用サーバー x 1 ・Windows ファイルサーバー(物理) x 2 ・Exchange サーバー(物理) x 1	・Backup Exec サーバー x 1 ・Windows エージェント x 2 ・アプリケーション & データベースエージェント x 1

例B: 物理/仮想混在の重複排除バックアップ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・バックアップ専用サーバー x 1 ・Windows ファイルサーバー(物理) x 1 ・Exchange サーバー(物理) x 1 ・SQLサーバー(物理) x 1 ・ESXiサーバー x 2 (合計10VM。2VMはアプリケーション有) ・重複排除が必要	・Backup Exec サーバー x 1 ・重複排除オプション x 1 ・Windows エージェント x 1 ・VMware & Hyper-V エージェント x 2 ・アプリケーション & データベースエージェント x 4

例C: 物理/仮想混在の重複排除バックアップ+集中管理+テープバックアップ

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・Windows ファイルサーバー(物理) x 2 ・SQLサーバー(物理) x 1 ・SharePoint ファーム x 1 - 分散環境 フロントエンドサーバー x 1 - インデックスサーバー x 1 - クエリサーバー(物理) x 1 ・ESXiサーバー x 3 (合計10VM。1VM はアプリケーション) ・バックアップサーバー x 3 が必要 ・集中管理が必要 ・重複排除が必要 ・テープオートローダー x 2 (各2ドライブ)	・Backup Exec サーバー x 3 ・重複排除オプション x 3 ・Enterprise Server オプション x 1 ・Library Expansionオプション x 2 (各BEサーバーに、テープライブラリ内の 1 台目のテープドライブ用のライセンスが含まれているため) ・Windows エージェント x 5 ・VMware & Hyper-V エージェント x 3 ・アプリケーション & データベースエージェント x 3

例D: 物理/仮想混在の重複排除バックアップ+集中管理+DR構成

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・バックアップ専用サーバー x 2 (両拠点分) ・Windows ファイルサーバー(物理) x 3 ・ESXi サーバー(5VM) x 1 ・SQLサーバー(物理) x 1 ・重複排除が必要 ・コールドDRサイトへのデータ複製が必要 ・集中管理が必要	・Backup Exec サーバー x 2 ・重複排除オプション x 2 ・Enterprise Server オプション x 1 ・Windows エージェント x 3 ・VMware & Hyper-V エージェント x 1 ・アプリケーション & データベースエージェント x 1

単体ライセンスに関するFAQ

Q. シンプルな容量ライセンスへの移行に関心があります。

容量ライセンスへアップグレードするためのクロスグレード SKU はありますか？

A. はい。有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様に、容量ライセンスへのアップグレードをご提案しています。このガイドの「容量ライセンスへの移行」セクションを参照してください。

Q. バックアップ対象サーバーのハードウェアをリプレイスします。旧サーバー上のソフトウェアをアンインストールし、新サーバー上にインストールして利用することは可能ですか？

A. はい、可能です。ライセンス所有者である同一のお客様内のシステムであれば、ライセンス対象のハードウェアを変更することは可能です。ただし、1つのライセンスが同時に複数のサーバー上で利用されるとライセンス契約に違反しますので、十分にご注意ください。

仮想環境用CPUライセンス V-Ray Edition

V-Ray Edition は仮想環境向けのCPU課金のライセンスです。
単体ライセンスと組み合わせて利用することも可能です。

ライセンス単位	詳細
対象仮想ホスト上の 搭載CPU数 注) 空ソケットは対象外。 CPU上のコア数は関係しません。	V-Ray Edition の対象仮想ホスト 1台あたり、以下のライセンスが利用可能。 •Backup Exec サーバー 1台 •VMware & Hyper-V エージェント 1台(※1)、(※2) •アプリケーション & データベース エージェント 台数無制限(※1) •重複排除オプション (※1) 各エージェントは、ライセンス対象の仮想ホスト上で稼動する仮想ゲストにのみ利用可能。他の仮想ホスト、仮想マシン、物理マシン用には利用不可。 (※2) 対象仮想ホスト上で稼動する仮想マシンに対して、台数制限なくWindows/Linux エージェントを利用可能。 クラスタ化された仮想ホストの場合、その全ノードの合計CPUソケット数分のライセンス購入が必要。 物理マシンの保護用などに、必要な単体ライセンス（エージェント/オプション）の追加購入が可能。 注) Hyper-V ホストの Windows サーバーの保護用の、Windows エージェントの権利を含みます。

必要なV-Ray Editionのライセンス数

仮想ホストの 搭載CPU数	必要なV-Ray Edition のライセンス数
1	1
2	2
4	4
8	8

V-Ray Edition の FAQ

Q. V-Ray Edition は物理環境を保護できますか？

A. V-Ray Edition に含まれるBackup Exec サーバーと重複排除オプションのみ、物理環境の保護に利用可能です。必要な物理環境用のエージェントやオプションを追加購入してください。

(注)個別追加する単体ライセンスのライセンスメーターは、単体ライセンスの説明を参照ください。

Q. V-Ray Edition は、物理環境に Backup Exec サーバーを構築できますか？また、その Backup Exec サーバー自身を保護できますか？

A. はい、どちらも可能です。V-Ray Edition に含まれるBackup Exec 基本ライセンスをインストールするサーバーは、物理サーバー/仮想マシンのどちらかを選択できます。

Q. お客様は、V-Ray Edition からの容量ライセンスに移行できますか？

A. はい、できます。

Q. 仮想ホスト上のCPUのコア数は、ライセンス計算に関係しますか？

A. 関係しません。以前の Backup Exec のバージョンの V-Ray Edition では、CPUのコア数に基づくTierが設定されていましたが、Backup Exec 16からそのTierが撤廃され、よりご購入いただきやすくなりました。

Q. 仮想マシンのCPU数/コア数は、ライセンス計算に関係しますか？

A. 関係しません。V-Ray Edition のライセンスメーターは、対象仮想ホストのCPU数のみです。

Q. よりシンプルな容量ライセンスに移行しようと思っています。Bronze/Silver/Gold EditionへのアップグレードSKUを購入することは可能でしょうか？

A. 可能です。メンテナンス契約が有効なお客様またはメンテナンス契約が既に失効されているお客様でも、Bronze/Silver/Gold Editionへのクロスグレードオプションをご用意しています。

Q. 仮想マシンのCPU数/コア数は、ライセンス計算に関係しますか？

A. 関係しません。V-Ray Edition のライセンスメーターは、対象仮想ホストのCPU数のみです。

V-Ray Edition シナリオの例

例A: 仮想環境のみの保護

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・仮想環境のみの保護 ・2 CPU のESXi ホスト × 3 ・仮想マシン × 15	・V-Ray Edition × 6 (2 CPU x 3 台 = 6 ライセンス)

例B: 仮想/物理混在の保護 パターン1

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・仮想環境と物理環境の保護 ・2 CPU のESXi ホスト × 3 ・仮想マシン × 25 ・Windows ファイルサーバー(物理) × 3 ・Linux サーバー(物理) × 1 ・SQL Server (物理) × 1 ・テープライブラリ x 1 (テープドライブ 10 台内蔵) ・重複排除を利用 ・集中管理を利用	・V-Ray Edition × 6 (2 CPU x 3 台 = 6 ライセンス) Backup Exec サーバーを3台まで構築可能 ・Windows エージェント × 3 ・Linux エージェント × 1 ・アプリケーション & データベースエージェント × 1 ・Library Expansionオプション x 9 ・Enterprise Server オプション x 1

例C: 仮想/物理混在の保護 パターン2

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・仮想環境と物理環境の保護 ・2 CPU のESXi ホスト × 2 ・仮想マシン × 20 ・Windows ファイルサーバー(物理) × 1 ・Linux サーバー(物理) × 1 ・Oracle サーバー(物理) x 1 ・テープライブラリ x 2 (テープドライブ 2 台内蔵) ・仮想テープライブラリ x 1 (テープドライブ 10 台内蔵) ・重複排除を利用 ・集中管理を利用	・V-Ray Edition × 4 (2 CPU x 2 台 = 4 ライセンス) Backup Exec サーバーを2台まで構築可能 ・Windows エージェント × 1 ・Linux エージェント × 1 ・アプリケーション & データベースエージェント × 1 ・Library Expansionオプション x 2 ・VTL Unlimited Driveオプション x 1 ・Enterprise Server オプション x 1

例D: クラスタ化された仮想環境の保護

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・仮想環境の保護 ・2 CPU のESXi ホスト × 2 ・2 ノードのクラスタ	・V-Ray Edition × 4 (2 CPU x 2 台 = 4 ライセンス)

3. 容量ライセンスへの移行

容量ライセンスであれば、ライセンスの管理もBackup Execの管理もより簡単に行えます。有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様に、容量ライセンスへの移行をご提案します。移行の対象となるBackup Execライセンス1つごとに、容量ライセンス製品の更新メンテナンス価格で1TBを購入できます。

対象:

- ・メンテナンス契約が有効なライセンスのみ対象
- ・2018年4月2日(Backup Exec 20.1の発売開始日)より前に購入のライセンスのみ対象
- ・移行の対象となるBackup Exec 製品は以下の表を参照

Backup Execサーバー Windowsエージェント アプリケーション & データベースエージェント VMware & Hyper-V エージェント Linuxリモートメディアエージェント Linuxエージェント Macエージェント(ライフサイクル終了) V-Ray Edition	Library Expansion オプション Enterprise Server オプション 重複排除オプション NDMPオプション VTL Unlimited Drive オプション ファイルシステムアーカイビングオプション(ライフサイクル終了) Exchange メールボックスアーカイビングオプション(ライフサイクル終了) Small Business Edition 基本ライセンス(ライフサイクル終了) Small Business Edition Windows エージェント(ライフサイクル終了)
---	--

条件:

- お客様は、Bronze/Silver/Gold Edition、Capacity EditionとCapacity Edition Liteのどちらかを選んでアップグレードできます。
- お客様が現在のメンテナンス契約期間の途中で移行を希望される場合は、残りのサポート期間を放棄する必要があります。未使用のサポートに対する返金はありません。
- お客様は、所有する移行対象のBackup Execライセンス数以下のTB数を購入可能です。
- お客様が、所有されている移行対象のBackup Execライセンス数よりも多いTBを必要な場合は、移行対象以外のライセンスを標準価格で追加購入できます。
- 移行対象として利用したBackup Execライセンスは破棄され、ご利用できなくなります。
- 容量ライセンスへの移行にはBronze/Silver/Gold、CapacityクロスグレードSKUが必要です。

移行シナリオの例

今日の日付を2017年12月15日と仮定しています。

例A:

お客様のライセンスとサポート期間

数量	ライセンス	オリジナルライセンスの購入日	サポート契約開始日	サポート契約終了日	サポート契約のステータス	特別クロスグレードの可否
1	Backup Exec サーバー	2014/07/01	2017/07/1	2018/06/30	有効	可
1	Windows エージェント	2014/07/01	2017/07/1	2018/06/30	有効	可
1	アプリケーション & データベース エージェント	2013/12/01	2017/12/1	2018/11/30	有効	可
1	VMware& Hyper-V エージェント	2014/09/15	2015/09/15	2016/09/14	無効	否
対象製品の合計数量						3

このシナリオでは、お客様は最大で3TBの容量ライセンスを取得できます。
クロスグレードの対象となる製品が3つ(3 ライセンス)あるからです。

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・2TBのデータ (データの増加見込み分が含まれます)	Backup Exec Bronze Edition (1～5TB) XGRD from Eligible BE Products x 2 (特別なクロスグレード価格で3TB購入できますが、 3TBを一括で購入する必要はありません)

例B:

お客様のライセンスとサポート期間

数量	ライセンス	オリジナルライセンスの購入日	サポート契約開始日	サポート契約終了日	サポート契約のステータス	特別クロスグレードの可否
2	Backup Exec サーバー	2014/10/01	2017/10/01	2018/09/30	有効	可
2	Windows エージェント	2016/05/01	2017/05/01	2018/04/30	有効	可
2	アプリケーション & データベース エージェント	2014/10/01	2017/10/01	2018/09/30	有効	可
1	VMware & Hyper-V エージェント	2015/03/01	2017/03/01	2018/02/28	有効	可
1	Enterprise Server オプション	2015/10/01	2017/10/01	2018/09/30	有効	可
1	重複排除 オプション	2014/08/01	2015/08/01	2016/07/31	無効	否
対象製品の合計数量						8

このシナリオでは、お客様は最大で8TBの容量ライセンスを取得できます。
クロスグレードの対象となる製品が8つ(8 ライセンス) あるからです。

お客様の環境とニーズ	お客様が購入する必要がある製品
・10TBのデータ (データの増加見込み分が含まれます) ・集中管理が必要	以下のように 10TB 分を購入します。 ・クロスグレードSKU 8TB分 ・サポート契約切れライセンス用のクロスグレードSKU 1TB分 ・通常SKU 1TB分 ・Backup Exec Gold Edition (6～15TB) XGRD from Eligible BE Products × 8 ・Backup Exec Gold Edition (1TB) XGRD from Expired Maintenance × 1 ・Backup Exec Gold Edition (1TB) × 1

移行に関するFAQ

Q. メンテナンス契約が有効な対象Backup Execライセンスが5つあります。容量ライセンスを5TB購入する必要がありますか？

A. いいえ。容量ライセンスを5TBまで購入できます。必ず5TB購入しなければならないわけではありません。3TBのみ必要な場合は、必要な3TB分だけ購入できます。

Q. 残りの対象Backup Execライセンスを、後日、特別なクロスグレード価格で容量ライセンスに交換できますか？

A. はい。ただし、残りの単体ライセンスでメンテナンス契約が有効な場合のみです。期間満了後は、ライセンスは特別な移行の対象ではなくなります。

Q. メンテナンス契約が有効な対象Backup Execライセンスが4つあり、容量ライセンスを5TB購入する必要がある場合はどうなりますか？

A. 1TB は標準価格で購入する必要があります。

Q. メンテナンス契約が期間満了したお客様が容量ライセンスに移行するための特別なクロスグレードSKUはありますか？

A. はい。メンテナンス契約が失効したお客様向けのクロスグレード用SKUがあります。

Q. 新規に単体ライセンスを購入し、その後、容量ライセンスへの移行を決めた場合はどうなりますか？特別なクロスグレードSKUを使用できますか？

A. いいえ。特別なクロスグレードSKUは、2018年4月2日以前にBEライセンスを購入したお客様のみを対象としています。

Q. 2018年4月2日より後に単体ライセンスを購入し、その後、容量ライセンスへの移行を決めた新規顧客のためのクロスグレードSKUはありますか？

A. いいえ。新規のお客様には最初に容量ライセンスを購入していただく必要があります。

Q. 移行後のメンテナンス契約の更新費用はどうなりますか？

A. 移行前の単体ライセンスの更新費用ではなく、移行後のBronze/Silver/Gold Edition、Capacity Edition / Capacity Edition Liteの更新費用が必要になります。

Q. クロスグレードを購入する際に、所有ライセンスの証明書類の提出が必要ですか？

A. はい、必要です。ライセンス証書のPDFファイル、ライセンス証書のコピー、インスタンス番号やサービス契約番号が記載された証書等をご用意ください。

4. アップグレードとその条件

既存のBackup Execのお客様の場合は、すでにインストールされているBackup ExecのバージョンをBackup Exec 20.3にアップグレードできます。ベリタスとのメンテナンス契約の状態によっては、Backup Exec 20.3に無償でアップグレードできる場合があります。無償アップグレード可能かの確認は、次の表を参照してください。

アップグレードの条件:

メンテナンス契約の状態	説明
Backup Execのメンテナンス契約が有効なお客様	Backup Execのいずれかのバージョンを所有し、かつ最新のメンテナンス／サポート契約をお持ちのお客様は、メンテナンス契約の対象に含まれる既存のバックアップライセンスのすべてをBackup Exec 20.3へ無償でアップグレードできます。
Backup Execのメンテナンス契約が失効しているお客様	Backup Execのいずれかのバージョンを所有し、メンテナンス契約が失効しているお客様がBackup Exec 20.3にアップグレードするには、すべての既存のバックアップライセンスのバージョンアップグレードSKU(ライセンス部分はMSRPの35%割引)を購入する必要があります。 現在、サポート/メンテナンス契約は遡及更新も可能です。アップグレードを購入するより低いコストでアップグレード可能な場合があります。購入元/仕入れ元の販売店様経由でお見積もりを取得頂けます。

注1) インプレースのアップグレードを実行する場合、既存環境がBackup Exec 20.3でサポートされているか、予めご確認ください。

注2) 有償、もしくは無償のアップグレードを実施される場合、アップグレード先の新バージョンを利用する権利だけになり、旧バージョンを使用する権利は消失します。旧バージョンを恒久的に継続利用することは出来ません。新旧両方のバージョンを継続利用/保持する必要がある場合は、新バージョンは新規購入してください。

アップグレードの仕組み:

お持ちのBackup Exec製品	Backup Exec 20.3へのアップグレード
メンテナンス契約をお持ちの Backup Exec サーバー、エージェントとオプション、V-Ray Edition、Capacity Edition、Capacity Edition Liteのお客様	
メンテナンス契約のあるBackup Exec 10x、11d、12、12.5、2010、2012、2014、15、16	・VEMS経由で Backup Exec 20.3に無償でアップグレードできます。 ・Backup Exec 16 とそれ以前のライセンスキーは Backup Exec 20.3では 使用できません。 ・Backup Exec 2014、15、16 を使用中のお客様は Backup Exec 20.3に 直接アップグレードできます。 ・Backup Exec 2012またはそれ以前のバージョンを使用中のお客様は、最初にBE15またはBE16のバージョンにアップグレードしてから Backup Exec 20.3に アップグレードする必要があります。
メンテナンス契約のないお客様 (Backup Exec の全バージョン) または競合製品から Backup Exec 20.3に切り替える新規のお客様	
メンテナンス契約のないBackup Execの全バージョン、または競合製品からBackup Exec 20.3への切り替え	・ライセンス部分はMSRPの35%割引で Backup Exec 20.3 にアップグレードできます。 ・Backup Exec 16またはそれ以前のバージョンを使用中でメンテナンス契約 をお持ちでないお客様が、Backup Exec 20.3を利用するには、既存のコア製品、エージェント、オプションのすべてについて、バージョンアップグレードSKU (ライセンス部分はMSRPの35%割引)を購入する必要があります。 ・競合製品からBackup Exec 20.3に切り替える場合は、乗り換えSKUによって ライセンス部分はMSRPの最大35%割引で購入できます。

注) 現在、サポート/メンテナンス契約は遡及更新も可能です。アップグレードを購入するより低いコストでアップグレード可能な場合があります。購入元/仕入れ元の販売店様経由でお見積もりを取得頂けます。

競合製品からの切り替え

有償で市販されている競合製品をお持ちのお客様は、その製品に該当するBackup Exec及びオプション/エージェントに優待価格で切り替えることが出来ます。

所有している対象競合製品のライセンス数より多いBackup Exec及びオプション/エージェントが必要な場合、通常の価格で追加購入可能です。

購入に当たっては、競合製品を所有していることを証明する書類(数量表示含む)をご提出頂く必要があります。

例)

No	所有している競合製品	数量	優待価格購入できるBE製品	数量
1	バックアップの基本ライセンス	1	Backup Exec基本ライセンス	1
2	Windows用エージェント	3	Windowsエージェント	3
3	仮想環境用エージェント	2	VMware&Hyper-Vエージェント	2

注) 以下は優待価格での切り替えの対象外の一例です。

- ・無償で配布されている製品
- ・バックアップ製品の評価版
- ・市販されていない製品
- ・OSやアプリケーション内のバックアップ機能

5. サポート／メンテナンスサービスの提供

重要なシステム、データの保護を安定して運用するためには、製品の新規購入時にサポート契約を同時にご購入いただき、サポート契約期間終了までに更新してください。

サービス

Backup Execのサポートは標準的な方法で行われます。例外や変更点はありません。Backup Exec製品ラインについては、テクニカルサポートが付属する場合と付属しない場合があります。有効なサポート／メンテナンス契約をお持ちのお客様は、契約対象の製品に対して電話またはオンラインhttps://www.veritas.com/support//ja_JP.html

からテクニカルサポートグループにお問い合わせいただけます。

テクニカルサポートグループにお問い合わせの際には、次の情報をご用意ください。

- 所有されている有効なサポート契約のサポートID
- 継続対応中のサポートケースの場合は、そのケースID
- 製品のリリースレベル
- ハードウェア情報
- 利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC情報
- オペレーティングシステム
- バージョンとパッチレベルの無償アップグレード
- ネットワークトポロジ
- ルーター、ゲートウェイおよびIPアドレス情報
- 問題の内容
- エラーメッセージ／ログファイル
- ベリタスに連絡する前に行ったトラブルシューティング
- 最近行ったソフトウェアの構成変更およびネットワークの変更

お問い合わせ先:

電話での問い合わせ(共通)

フリーダイヤル(日本語窓口): **0120-99-3232**

(IP電話などフリーダイヤルが利用不可の場合:03-4477-4957)

※) テクニカルサポートとカスタマケアは電話番号を共有しております。

自動応答の音声メッセージに従い操作すると、それぞれの窓口につながります。

WEBサイト「Veritasサポート」からのお問い合わせ(ケース発行)

URL: https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/

注) メールでの新規受付は行っておりません。但し、受付後のサポート対応時にはメールもご利用可能です。

サポート契約:

3種類のレベルがあります。

・ベーシックメンテナンス(BM)

平日日中のサポート対応

・エッセンシャルサポート(ES)

24時間365日のサポート対応

・ビジネスクリティカルサービス(BCS)

オンサイトサポートを含むことも可能な、ミッションクリティカルなシステム向けの、より高度なサポートサービス。エッセンシャルサポート加入後に追加購入が必要

サポートポリシー:

サポートポリシー、サポートサービスの詳細な内容については、以下をご参照ください。

・テクニカルサポートポリシー／サービス規約

https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/terms/support-fundamentals.html

・各国語のサポート表

<https://www.veritas.com/content/dam/support/terms/Veritas-Local-Language-Support-Table.pdf>

サポート契約レベル

ベーシック メンテナンス	・サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 ・重大度レベル1の障害に対して、レスポンスタイムの目標値は1営業時間以内 ・24 時間 365日の更新とパッチの提供 ・営業時間内(弊社営業日 9:00-18:00)のコールセンターへの問い合わせ ・製品タイトルごとに、お問い合わせ担当者(Named Caller)を2人まで登録可能
エッセンシャル サポート	・サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 ・重大度レベル1の障害に対して、レスポンスタイムの目標値は30分以内 ・24 時間 365日の電話対応 (注) 重大度1の障害に対してのみ24時間の問題解決に対応。 時間外の対応言語は英語のみ。 ・製品タイトルごとに、お問い合わせ担当者(Named Caller)を6人まで登録可能
ベリタス ビジネスクリティカル サービス (ベリタスのプレミアム サポート)	サービス中断の許容要件が非常に厳しい企業を対象に設計されており、業界で比類のない個別化されたサービスを提供します。このサービスレベルでは、ベリタスは単なるサポートチームではなく、お客様のビジネスの一員です。この総合的アプローチでは、以下が提供されます。 ・お客様の複雑なIT環境、プロセス、文化に精通した、ベリタスのサポート技術者のエリートチームから単一の窓口を提供。環境についての深い理解が、問題解決の時間短縮とリスクの緩和につながります。 ・ベリタスにおける最短のサービスレベル目標 ・上級サポート技術者への迅速な問い合わせ - 解決時間を可能な限り短縮 ・リモートまたはオンサイトのサポートサービスオプション ・サポート期間中、バージョンとパッチレベルを無償でアップグレード

エンタープライズサポート早見表

エンタープライズサ ポート とメンテナンスサービス	ベーシック メンテナンス	エッセンシャル サポート
重大度1 のCase の レスポンス時間目標	1営業時間以内	30分
サポートエンジニアへの 電話でのアクセス	弊社営業日 午前9時 から午後6時まで	24時間365日(※1)
ソフトウェアの アップグレード	●	●
アップデート、パッチの ダウンロード	●	●
登録可能なお問い合わせ 担当者(Named Caller)	製品タイトル ごとに2名	製品タイトル ごとに6名

(※1) 弊社営業日の日中以外は、重大度1のお問い合わせのみ対応。その際の対応言語は英語のみ。

サポート契約と更新:

サポート契約はバックアップシステム内の全てのBackup Exec製品に対してご購入ください。

またサポート契約は、契約期間の終了日までに更新手続きを完了してください。

契約終了日以降の更新には、遡及更新のための追加費用が加算されます。

遡及費用のお見積もりは、ご購入元/仕入れ元の販売店様へ依頼してください。

システム変更により利用を中止したライセンスは、同一のお客様内の別システムで利用可能ですが、完全に利用を終了する場合は、次回サポート契約更新時にそのライセンス数を減数して更新することも可能です。

サポートの複数年契約の注意事項:

サポート契約は複数年分を一括契約可能です。その際、以下の組み合わせでご発注頂く必要があります。ご不明点は販売店、仕入れ元、ベリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ
1年	12ヶ月(1年分)のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月(2年分)のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月(3年分)のサポート付ライセンス
4年	36ヶ月(3年分)のサポート付ライセンス + 12ヶ月(1年分)の更新用サポート契約
5年	36ヶ月(3年分)のサポート付ライセンス + 24ヶ月(2年分)の更新用サポート契約

注) ご利用頂く製品(バージョン)のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

ビジネスクリティカルサービス(BCS)について:

ダウンタイムを最小限に抑えることを重視する大企業のお客様向けに開発された新しいサポートです。最高レベルのサポート専門知識と迅速な対応を提供するBCSアドバンストアクセスには、以下の特長があります。

- 重大度1の事象に対する上級サポート技術者による24時間365日対応
- コールの優先キュー
- BCS初期応答、サービス復旧、ソリューション提供目標
- BCS／プラチナ会員向けのセキュリティ保護されたセキュリティ製品用プレミアムWebサイトへのアクセス
- 無制限の問い合わせ登録者

ビジネスクリティカルサービスとリモートプロダクトスペシャリストは、提供できない地域があります。地域ごとの提供については、販売店、仕入先、ローカルのベリタスのアカウント担当者までご確認ください。なお、前提条件としてエッセンシャルサポートの購入が必要です。

無料サポート:

すべてのお客様は、以下のサポートを無料で受ける資格があります。

但し、以下の全ての利用において有償サポート窓口の利用は出来ず、電話、メールなどでのお問い合わせ先はありません。予めご了承頂きますようお願い申し上げます。

(※) 2018年11月時点でのご提供内容

- WEB 上で公開されているパッチの入手とアップデート
hotfix、サービスパック、アップデートなど、WEB 上で公開されているパッチ及び関連情報の入手と、それを用いた Backup Exec ソフトウェアのアップデート。
- テクニカルサポート情報へのアクセス
公開されているサポートWEB上の情報へのアクセス。
Backup Exec の日本語サポートページ
https://www.veritas.com/content/support/ja_JP.PID_15047.html
- テクニカルフォーラムへのアクセス
英語で開催されているテクニカルフォーラムへのアクセス
<http://www.veritas.com/community/ja>

ベリタスは、お客様がサポートサービスを購入されることを強くお勧めします。

サポートサービスを購入されていないお客様が有償サポートを受けるためには、サポートサービスが付属したアップグレード製品を、ご利用ライセンス分ご購入頂く必要があります。

そのため、有償サポートを受けるために費用も時間もかかります。

(スポット対応の有償サポートは提供していません)

製品のサポート提供期間:

製品のサポート提供期間は、新しいベリタスのポリシー(End Of Life Policy)により定められています。詳細な情報は、以下のURLをご参照ください。

ベリタスは、常に最新バージョンへアップグレードして製品を利用することを強く推奨しています。

Veritas End of Life Policy

[https://www.veritas.com/content/dam/support/terms/Veritas%20EOL%20Policy%20\(external\)%2020170126.ja-JP.pdf](https://www.veritas.com/content/dam/support/terms/Veritas%20EOL%20Policy%20(external)%2020170126.ja-JP.pdf)

Veritas End of Life Table

<https://www.veritas.com/content/dam/support/terms/Product%20EOL%20Table.pdf>

注) Backup Exec には Commercial Products 用のポリシーが適用されます。

サポート提供期間一覧:

以下の表に記載の無い旧バージョンのサポート提供はすべて終了しています。

製品	出荷開始日	ライフサイクル終了開始日	標準サポート終了日	サポートライフ終了日
Backup Exec 2014	2014/6/2	2015/4/6	2017/10/6	2018/11/7
Backup Exec 15	2015/4/6	2016/11/7	2017/11/7	2019/11/7
Backup Exec 16	2016/11/7	2018/4/2	2019/4/2	2021/4/2
Backup Exec 20.3	2018/8/13	未定(注1)	未定(注1)	未定(注1)

<参考情報>

End of Support for Prior Backup Exec Versions

<http://www.veritas.com/docs/000116356>

- ・標準サポート(スタンダードサポート)
製品に対する通常のサポート対応
- ・延長テクニカルサポート
標準サポート終了後、サポートライフ終了日まで提供される限定的なサポート
既知情報(ナレッジ)をベースにしたサポート対応を提供
- ・延長テクニカルサポート契約
延長テクニカルサポートを受けるために追加購入が必要なサポート契約。
※有効な保守契約が前提となります

(注1) Backup Exec 20.3のサポート提供期間は現時点では未定です。
次期メジャーバージョン発売時に確定する予定です。

6. 追加情報

- ・ハードウェアおよびソフトウェア互換性ガイド、テクニカルサポート、管理者ガイドなど、Backup Execに関する詳細については、以下のサポートWEBを参照してください。

https://www.veritas.com/content/support/ja_JP.PID_15047.html

Backup Exec 20.3 Administrator's Guide 日本語

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/63385057-133854305-0/index

Backup Exec 20.3 Readme

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/68021655-133855671-0/index

Backup Exec 20.x Software Compatibility List (SCL)

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/BE_20_SCL

Backup Exec 20.x Hardware and Cloud Storage Compatibility List (HCL)

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/BE_20_HCL

- ・ご購入後のライセンスに関するサポート(Veritasサポートの利用方法など)については、カスタマケアへお問い合わせください。

担当部署: カスタマケア

WEB: https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

フリーダイヤル(日本語窓口): **0120-99-3232**

(フリーダイヤルが利用不可の場合: 03-4477-4957)

- ・ライセンスプログラムについては、以下の 3 種類を用意しております。

コーポレート: 一般企業向け

アカデミック: 教育機関向け

ガバメント: 政府機関/非営利団体向け

該当組織/団体については以下のURLをご確認ください。不明な場合はベリタスセールスインフォメーションセンターにお問い合わせください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/licensing>

- ・評価とNFR

Backup Exec 20.3 の60日間評価版は、Veritas Web サイトからダウンロードできます。

<https://www.veritas.com/content/trial/ja/jp/backup-exec-20>

60 日間評価版では、すべてのエージェントとオプション(Enterprise Server オプションを除く)の機能を試用できます。さらに、Backup Exec 20.3 を導入後も、すべてのエージェントとオプション(Enterprise Server オプションを除く)を、60 日間無料で試用できます。

※) 評価版としてインストールしたBackup Execにライセンスキーを登録すると、正規製品版になります。

ベリタスのパートナープログラムに登録されているすべてのレジスターパートナー様は、

専用サイト <https://partnernet.veritas.com/>

で NFR (Not For Resell 再販禁止) コピーと評価コピーを注文できます。

パートナー様社内での検証用に限り、期間制限無くご利用いただけます。

・動作環境概要

詳細は管理者ガイド、Software Compatibility List、Hardware and Cloud Storage Compatibility Listなどの各種資料を参照ください。

■Backup Exec サーバー本体

CPU Pentium/Xeon 以上を推奨

RAM 2GB以上

HDD 空き容量 2GB以上

OS Windows 2008/2008R2/2012/2012R2/2016/2019 (注) x64 OS のみ対応

■バックアップ対象サーバー

Windows

CPU Pentium/Xeon 以上を推奨

RAM 1GB以上

OS Windows 7/8.x/10/2008/2008R2/2012/2012R2/2016/2019 (注) x32/x64 対応

Linux

CPU Pentium/Xeon 以上を推奨

RAM 1GB以上

OS RHEL 5.5-5.11、6.1-6.9、7.0-7.5、SUSE 11 SP1-SP4、12 SP1-SP3、
CentOS 6.7、7.0、7.1、7.3、7.5

■オンラインバックアップ対象アプリケーション/データベース

・SQL Server 2005/2008/2008R2/2012/2014/2016/2017

・Exchange 2010/2013/2016/2019

・SharePoint 2010/2013/2016

・Oracle 10g/10g R1/10g R2,11g/11g R1/11g R2,12c/12c R1/12c R2

・Enterprise Vault 11.0/12.0/12.1/12.2/12.3

注) CPU/RAM/HDDなどのハードウェア要件は、ご利用状況により変化します。

バックアップ対象のサーバー台数、データ量、ご利用予定のオプション構成などを考慮の上、
適宜上記値より増設してください。

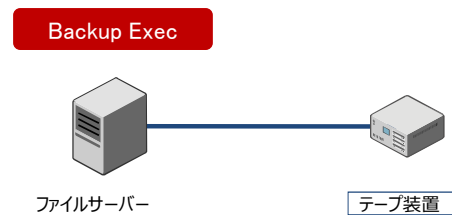
付録1: 単体ライセンスでのライセンス構成例

構成図内の略語一覧

Backup Exec	Backup Exec サーバー
App & DB	アプリケーション & データベースエージェント
LEO	Library Expansion オプション
VUDO	VTL Unlimited Drive オプション
VMware & Hyper-V	VMware & Hyper-V エージェント
ESO	Enterprise Server オプション
CAS	ESO に含まれる Central Admin Server オプション機能の集中管理サーバー
MBES (旧MMS)	ESO に含まれる Central Admin Server オプション機能の、管理対象となる Backup Exec サーバー (Managed Backup Exec Server)

<Backup Exec 基本構成例>

1台のファイルサーバーのローカルバックアップ

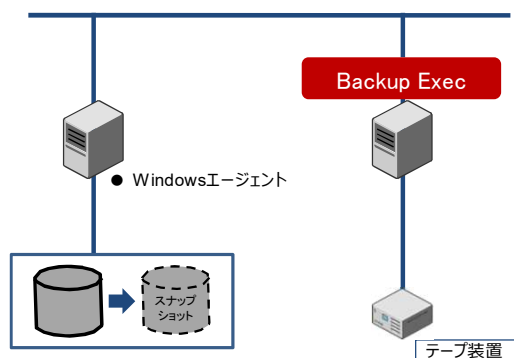


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1

Note : Backup Exec の基本ライセンスには以下が含まれます。

- ・Backup Execサーバー自身のローカルバックアップ
- ・オープンファイルのバックアップ
- ・システムリカバリ機能(SDR: Simplified Disaster Recovery)
- ・シングルドライブ構成のテープライブラリサポート
- ・ディスク/シングルテープドライブ/クラウドへのバックアップ

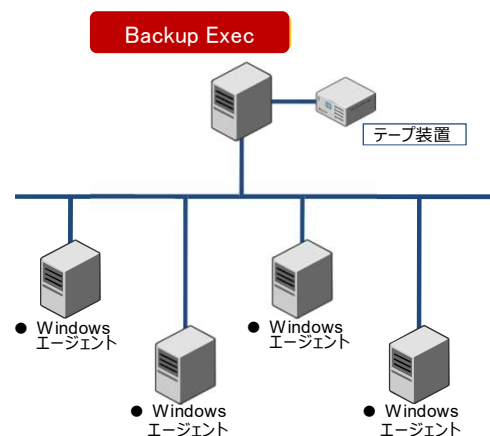
スナップショットを使用したファイルサーバーのリモート バックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	1

Note : VSS のスナップショットを利用したオープンファイルのバックアップ、Advanced Open File 機能は、Backup Exec の基本ライセンスに含まれます。

4台のリモートサーバーでのシステム障害対策

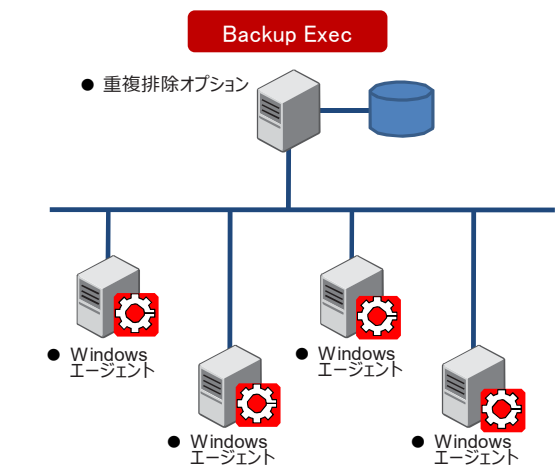


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	4

Note : システム障害回復に必要な Simplified Disaster Recovery(SDR) 機能は、Backup Exec の基本ライセンスに含まれています。SDR はメディアサーバー、リモートの Windows サーバーの両方で利用可能です。

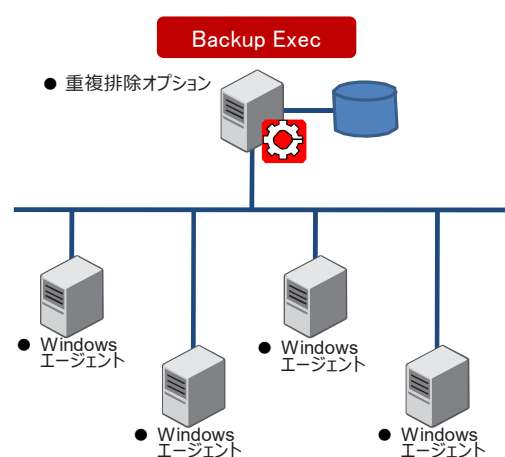
<Backup Exec 重複排除オプション構成例>

クライアント側での重複排除



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	4
重複排除オプション	1

Backup Exec サーバー側での重複排除

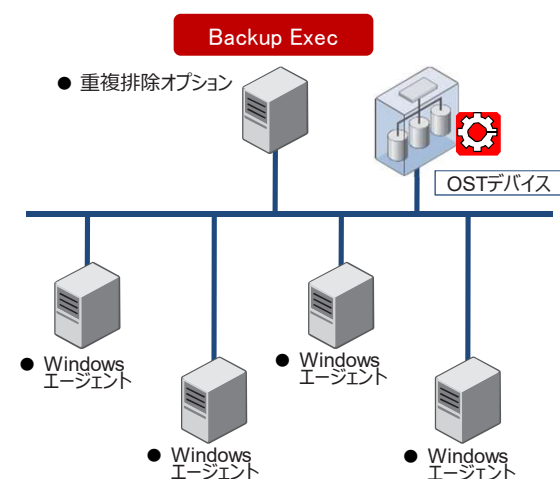


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	4
重複排除オプション	1

アプライアンス側での重複排除



このマークがあるところで重複排除が行われています。



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	4
重複排除オプション	1

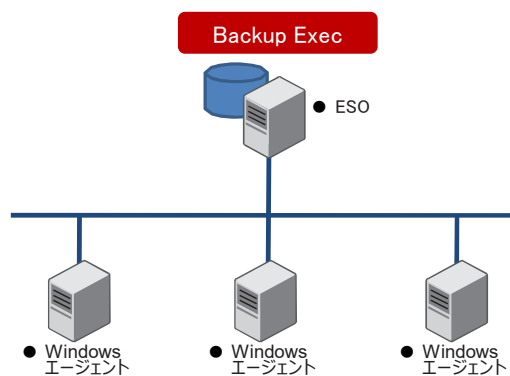
Note: OST対応ストレージによっては、Backup Execサーバーもしくはクライアント(バックアップ対象サーバー)側での重複排除を実行できる機種もあります。

OST デバイス

OST (OpenStorage Technology)はベリタステクノロジズの提唱するAPIです。OST はさまざまなストレージベンダーが提供する機能と、バックアップアプリケーションとをシームレスに連携させます。OST に対応したストレージデバイスは、OSTに対応した Backup Exec などのアプリケーションと連携可能です。

<Backup Exec ADBO 構成例>

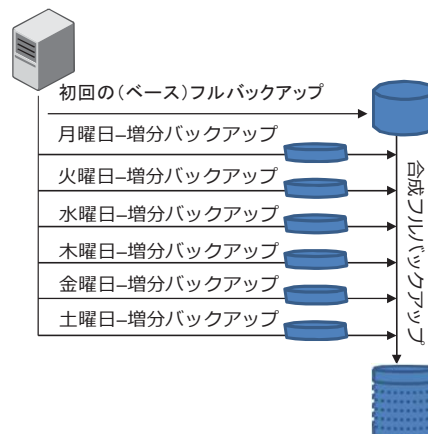
リモートファイルサーバーから増分バックアップを
ディスクに 取得した後、合成フルバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	3
Enterprise Server オプション	1

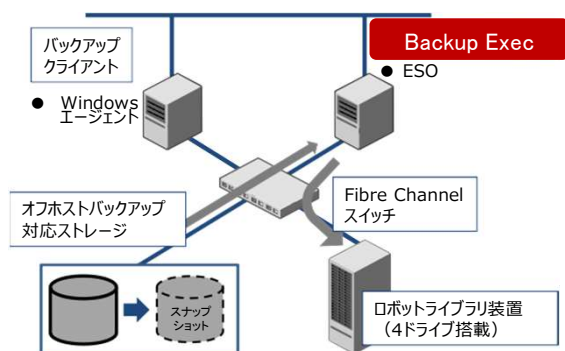
Note: Enterprise Server オプションには、合成バックアップに必要な Advanced Disk-Based Backup オプションの機能が含まれます。メディアサーバーに Enterprise Serverオプションが必要です。

●合成バックアップのイメージ



対象となるバックアップデータを全て読み込み、それらを合成して書き出し、フルバックアップデータを生成します。

オフホストバックアップ 4ドライブライブラリ1台

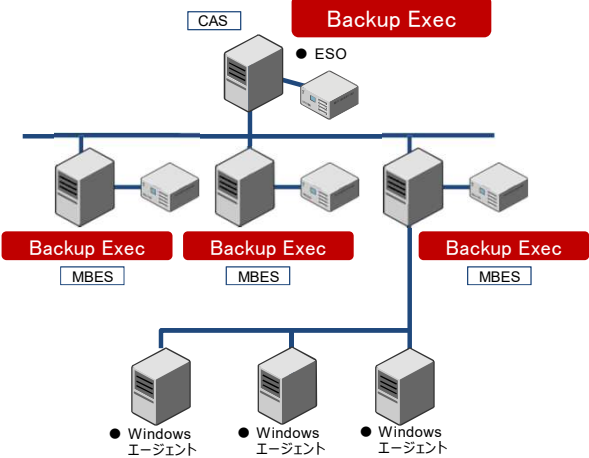


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Enterprise Server オプション	1
Windows エージェント	1
Library Expansion オプション	3

Note: Enterprise Server オプションには、オフホストバックアップに必要な Advanced Disk-Based Backup オプションの機能が含まれます。メディアサーバーに Enterprise Server オプションが必要です。オフホストバックアップに対応しているストレージは、Backup Exec の Hardware and Cloud Storage Compatibility List をご参照ください。

<Backup Exec CASO 構成例>

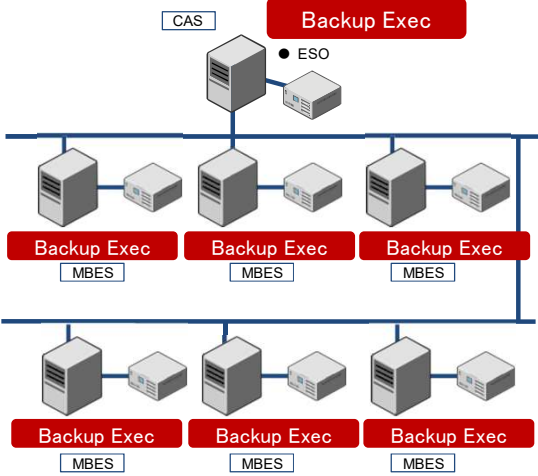
複数台の Backup Exec サーバーを集中管理 (1)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	4
Windows エージェント	3
Enterprise Server オプション	1

Note : Enterprise Server オプションには、Central Admin Server オプション (CASO)の機能が含まれます。CASOを使用する場合、集中管理対象の環境に対して 1 つのライセンスが必要です。CAS にインストールします。

複数台の Backup Exec サーバーを集中管理 (2)

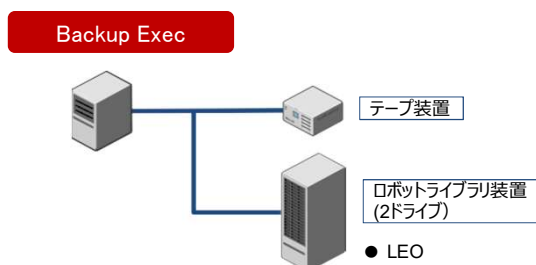


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	7
Enterprise Server オプション	1

Note : Enterprise Server オプションには、Central Admin Server オプション (CASO)の機能が含まれます。CASOを使用する場合、集中管理対象の環境に対して 1 つのライセンスが必要です。CAS にインストールします。

<Backup Exec LEO 構成例>

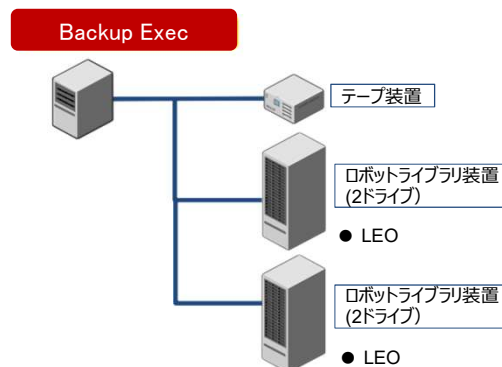
1台のファイルサーバーに1台のテープ装置と
2ドライブを装備しているロボットライブラリ装置 1台



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Library Expansion オプション	1

Note: ロボットライブラリ装置内のテープドライブの合計が2台以上の場合には、LEO が必要です。
ライブラリ装置内の2ドライブ目から課金対象となります。
n台のテープ装置を内蔵しているライブラリ装置の場合、
 $n - 1$ = 必要な LEO のライセンス数
と、なります。

1台のファイルサーバーに1台のテープ装置と
2ドライブを装備しているロボットライブラリ装置 2台

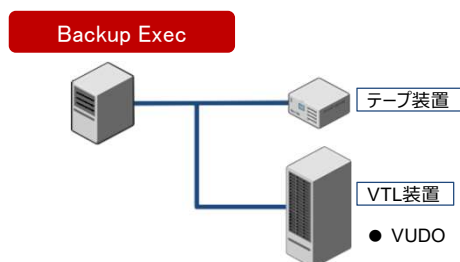


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Library Expansion オプション	2

Note: 図示した構成の場合、 $(2-1) + (2-1) = 2$ のLEOが必要です。

<Backup Exec VUDO 構成例>

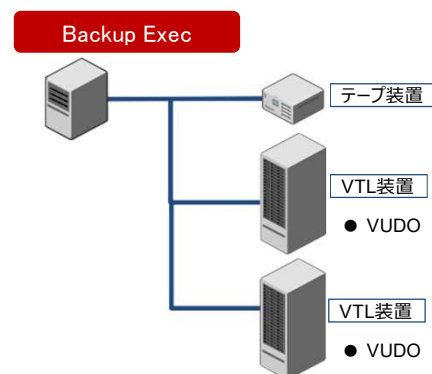
1台のファイルサーバーに1台のテープ装置
と仮想テープライブラリ(VTL) 1台



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VTL Unlimited Drive オプション	1

Note: VUDO ライセンスは、VTL装置筐体内の仮想ライブラリ単位に必要です。VTL内の仮想ライブラリに設定されているドライブ数は、VUDOライセンス数に影響しません。VTL内の仮想ライブラリが、1台のテープドライブのみで構成されている場合は、VUDOは 不要です。

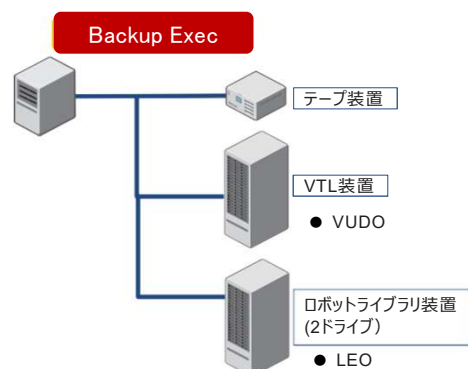
1台のファイルサーバーに1台のテープ装置
と 仮想テープライブラリ(VTL) 2台



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VTL Unlimited Drive オプション	2

Note: VUDO ライセンスは、VTL装置筐体内の仮想ライブラリ単位に必要です。VTL内の仮想ライブラリに設定されているドライブ数は、VUDOライセンス数に影響しません。VTL内の仮想ライブラリが、1台のテープドライブのみで構成されている場合は、VUDOは 不要です。

1台のファイルサーバーにロボットライブラリ1台
と仮想テープライブラリ(VTL) 1台



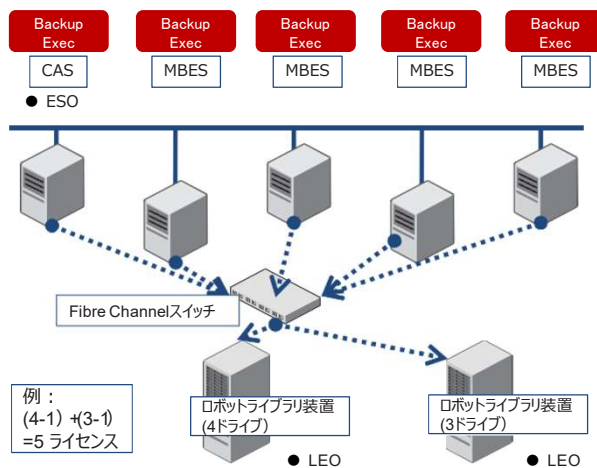
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VTL Unlimited Drive オプション	1
Library Expansion オプション	1

Note: VUDO ライセンスは、VTL装置筐体内の仮想ライブラリ単位に必要です。VTL内の仮想ライブラリに設定されているドライブ数は、VUDOライセンス数に影響しません。VTL内の仮想ライブラリが、1台のテープドライブのみで構成されている場合は、VUDOは 不要です。

<Backup Exec SSO 構成例>

SAN環境でのバックアップ/リストア

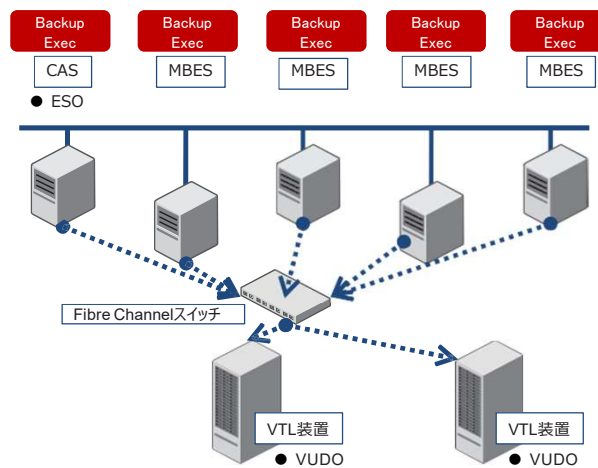
例: テープライブラリ (2台 / 4ドライブと3ドライブ) をサーバー5台で共有



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	5
Library Expansion オプション	5
Enterprise Server オプション	1

Note: SAN環境でのデバイス共有には、Enterprise Server オプションに含まれるCASO の環境を構築する必要があります。各 Backup Exec サーバーでLTOライセンスは共有されます。したがって必要なLTOライセンスは 5 です。

例: VTL (2台 / 各々4論理ドライブ) をサーバー5台で共有



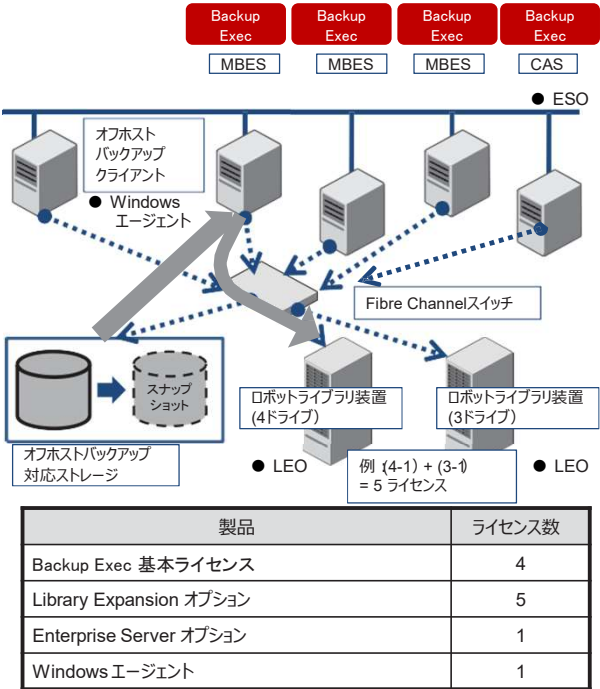
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	5
VTL Unlimited Drive オプション	2
Enterprise Server オプション	1

Note: SAN環境でのデバイス共有には、Enterprise Server オプションに含まれるCASO の環境を構築する必要があります。各 Backup Exec サーバーでVUDOライセンスは共有されます。したがって必要なVUDOライセンスは 2 です。VUDO ライセンスは、VTL装置筐体内の仮想ライブラリ単位に必要です。VTL内の仮想ライブラリに設定されているドライブ数は、VUDOライセンス数に影響しません。VTL内の仮想ライブラリが、1台のテープドライブのみで構成されている場合は、VUDOは 不要です。

＜Backup Exec CASO・ADBO・SSO 構成例＞

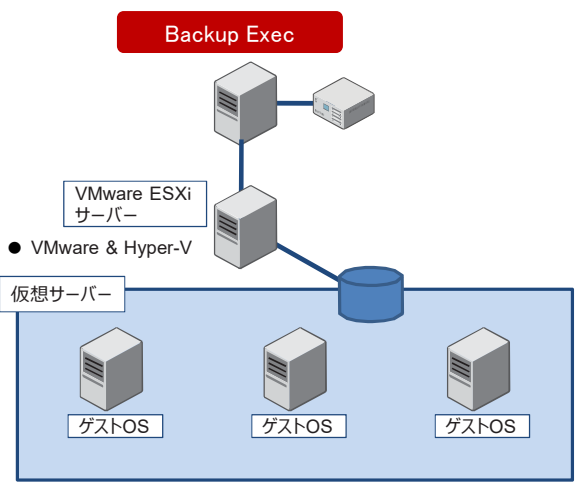
SAN環境でのバックアップ／リストア

例:テープライブラリ (2台/4ドライブと3ドライブ)を4台のサーバーで共有。4台のうち1台では、1台のバックアップクライアントのオフホストバックアップを実行、この Backup Exec 環境を1 台の Backup Exec サーバーで集中管理



＜Backup Exec VMware エージェント構成例＞

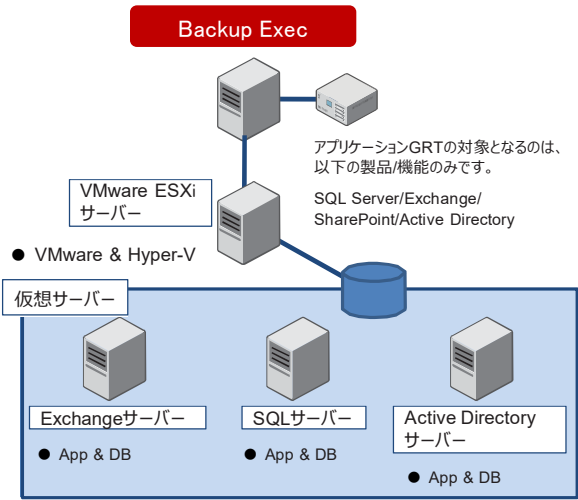
VMware ESXi 環境のバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	1

Note: Backup Exec は、VMware の VADP 方式で仮想マシンをバックアップ可能です。また、VMware & Hyper-V エージェントを利用する際、対象 ESXi ホスト上のゲスト OS に対して Windows エージェントと Linux エージェントを台数制限なく導入/使用可能です。

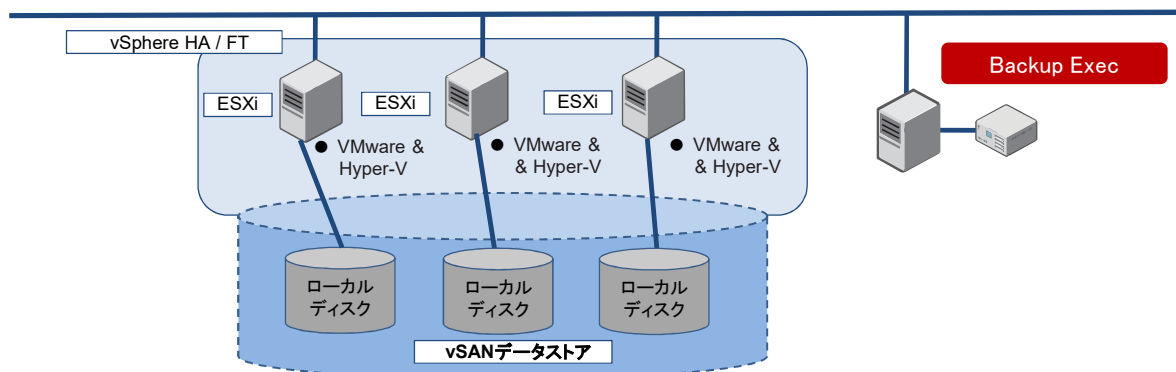
アプリケーション GRT を利用したバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	1
アプリケーション&データベースエージェント	3

<Backup Exec VMware エージェント構成例>

VMware ESXi HA / FT + vSAN構成

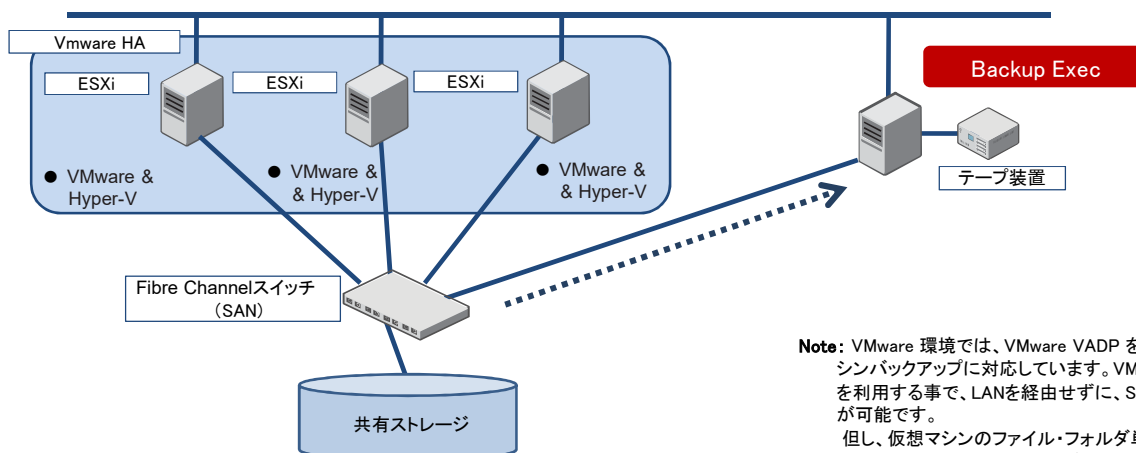


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	3

Note: Backup Exec は、VMware の VADP 方式で仮想マシンをバックアップ可能です。また、VMware & Hyper-V エージェントを利用する際、対象 ESXi ホスト上のゲスト OS に対して Windows エージェントと Linux エージェントを台数制限なく導入/使用可能です。

vSphere HA / FT 構成では、HA / FT 構成に組み込まれている ESXi ホスト毎に VMware & Hyper-V エージェントが必要となります。

VMware ESXi SAN バックアップ構成

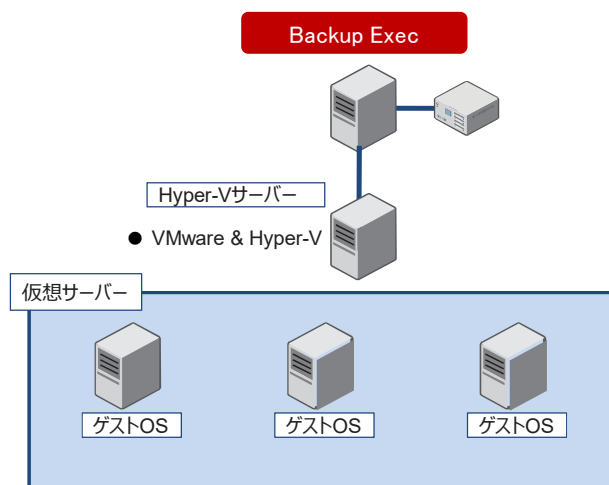


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	3

Note: VMware 環境では、VMware VADP を利用した SAN 経由の仮想マシンバックアップに対応しています。VMware & Hyper-V エージェントを利用する事で、LAN を経由せずに、SAN による高速なバックアップが可能です。但し、仮想マシンのファイル・フォルダ単位の個別バックアップ、アプリケーション GRT を利用したバックアップが必要な場合には、仮想マシンに Windows エージェントを個別にインストールする必要があります。このバックアップには、LAN が利用されます。

<Backup Exec Hyper-V エージェント構成例>

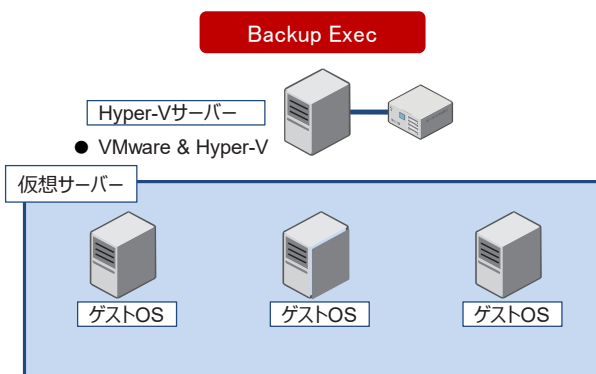
Hyper-V 環境のバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	1

Note: VMware & Hyper-V エージェントを利用する際、Backup Exec サーバーと別に Hyper-V のホストが構築されている場合は、Hyper-V のホストに Windows エージェントをインストールする必要があります。VMware & Hyper-V エージェントには、その Windows エージェントの権利が含まれ、Hyper-V ホストの保護も可能です。また、対象の Hyper-V ホスト上のゲストOSに導入する Windows エージェントや Linux エージェントは、台数制限なく導入/使用可能です。

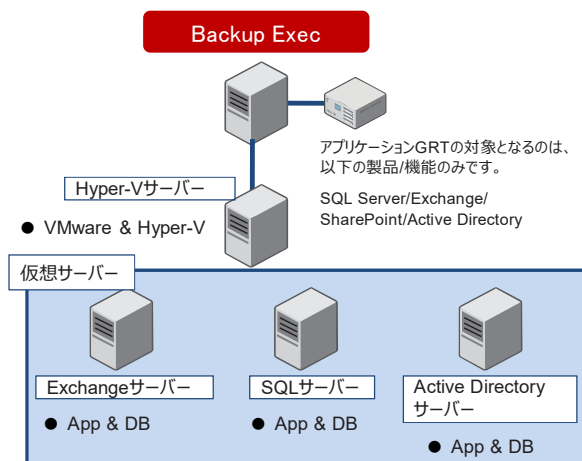
Hyper-V 環境のバックアップ メディアサーバー、Hyper-Vサーバー兼用



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	1

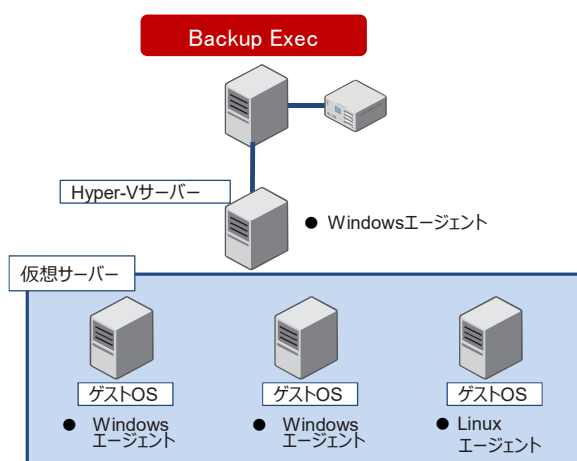
Note: VMware & Hyper-V エージェントを利用する際、対象 Hyper-V ホスト上のゲスト OS に対して Windows エージェントと Linux エージェントを台数制限なく導入/使用可能です。

アプリケーション GRT を利用したバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
VMware & Hyper-V エージェント	1
アプリケーション&データベースエージェント	3

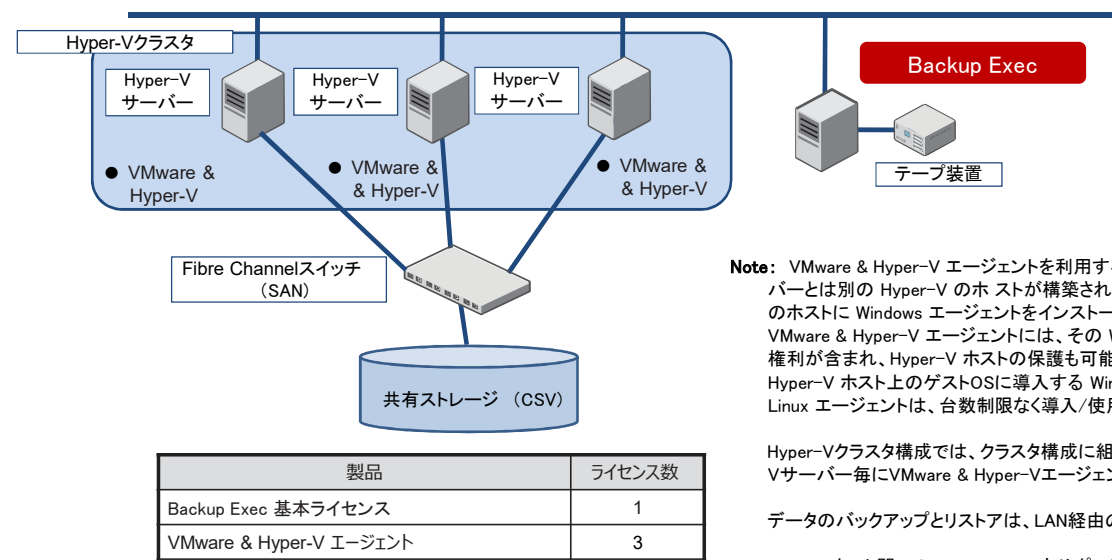
【参考】Hyper-V エージェントを使用しない場合 Hyper-V 環境のバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	3
Linux エージェント	1

<Backup Exec Hyper-V エージェント構成例>

Hyper-Vクラスタ構成



Note: VMware & Hyper-V エージェントを利用する際、Backup Exec サーバーとは別の Hyper-V のホストが構築されている場合は、Hyper-V のホストに Windows エージェントをインストールする必要があります。VMware & Hyper-V エージェントには、その Windows エージェントの権利が含まれ、Hyper-V ホストの保護も可能です。また、対象の Hyper-V ホスト上のゲストOSに導入する Windows エージェントや Linux エージェントは、台数制限なく導入/使用可能です。

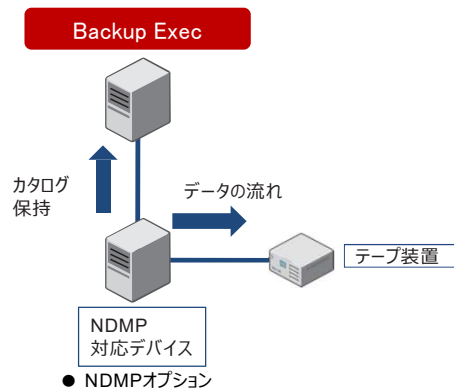
Hyper-V クラスタ構成では、クラスタ構成に組み込まれている Hyper-V サーバー毎に VMware & Hyper-V エージェントが必要となります

データのバックアップとリストアは、LAN 経由のみとなります

Hyper-V ホスト間での Live Migration もサポートしています。このため、バックアップとリストアのリクエストを受ける可能性があるすべての Hyper-V ホストに VMware & Hyper-V エージェントのライセンスが必要となります

<Backup Exec NDMP オプション構成例>

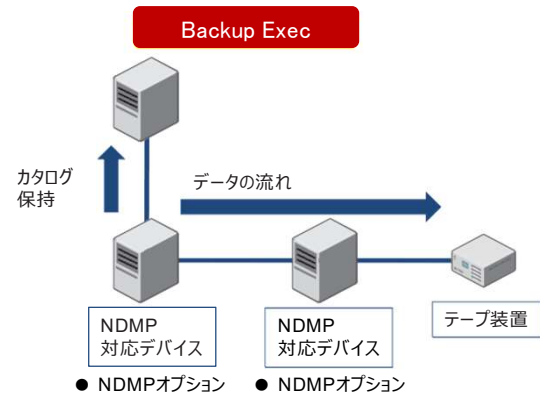
NDMP を利用した Filer to Tape でのバックアップ (Direct 方式)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
NDMP オプション	1

Note: NDMP 方式でのバックアップに対応した NAS は、Backup Exec の Hardware and Cloud Storage Compatibility List でご確認ください。

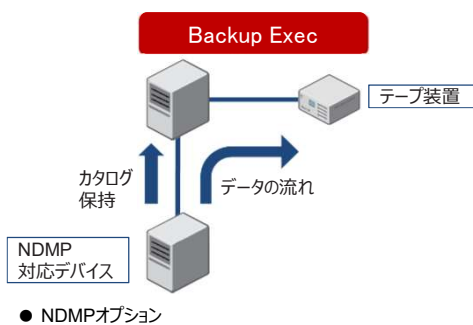
Filer to Filer to Tape でのバックアップ (3 Way 方式)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
NDMP オプション	2

Note: NDMP 方式でのバックアップに対応した NAS は、Backup Exec の Hardware and Cloud Storage Compatibility List でご確認ください。

NDMP を利用したリモートバックアップ (Remote 方式)

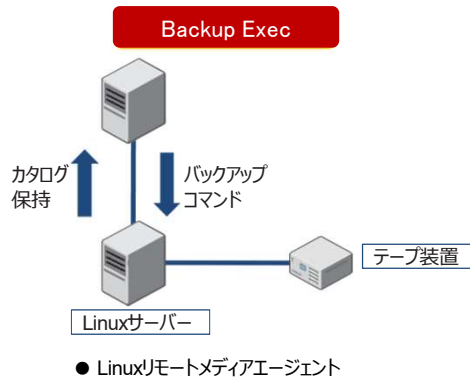


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
NDMPオプション	1

Note: NDMP 方式でのバックアップに対応した NAS は、Backup Exec の Hardware and Cloud Storage Compatibility List でご確認ください。

<Backup Exec RMAL 構成例>

Linux リモートメディアエージェントを利用したバックアップ

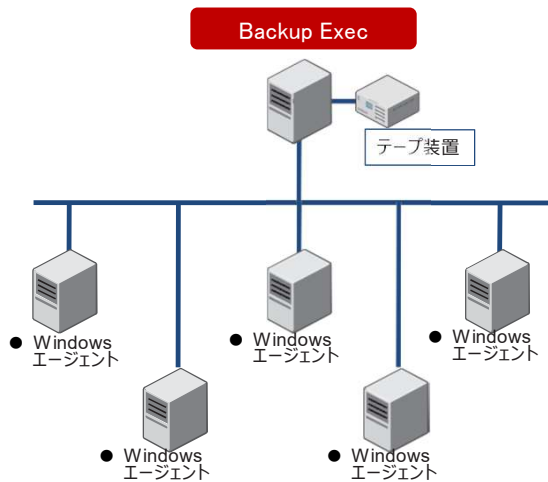


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Linux リモートメディアエージェント	1

Note: Linux サーバーに接続されたバックアップストレージに、直接バックアップデータを書き出すことが可能になります。必ず Windows 上の Backup Exec サーバーが必要です。

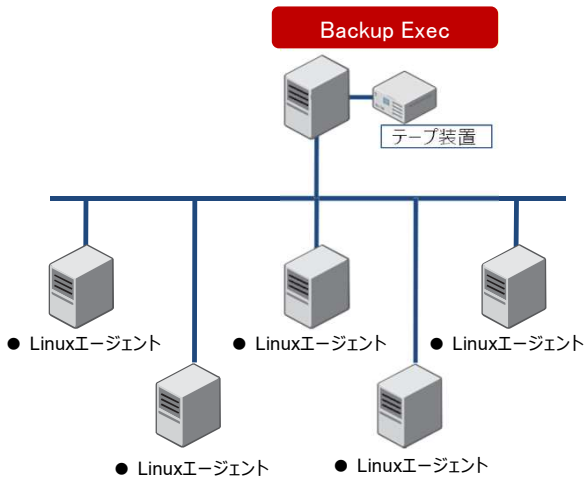
<Backup Exec リモートエージェント構成例>

リモート Windows サーバーが計 5 台



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	5

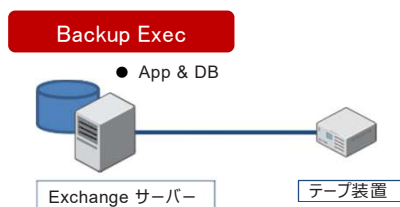
リモートに Linux サーバーが計 5 台
(Windows 以外のサーバーの場合)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Linux エージェント	5

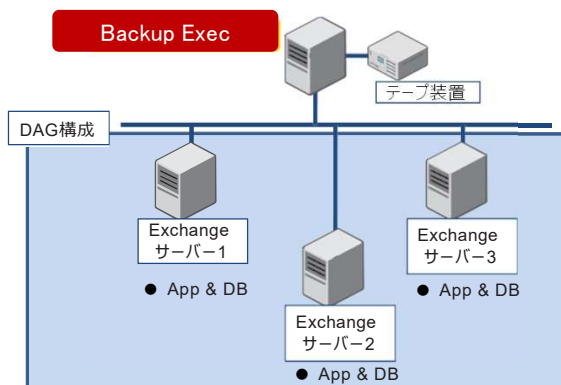
<Backup Exec アプリケーション & データベースエージェント構成例>

1台の Exchange サーバーをバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1

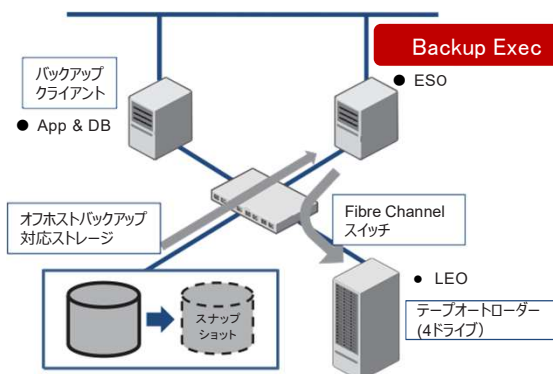
Database Availability Group 構成の Exchange サーバーのバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	3

Note :DAG 構成の場合、Exchange サーバーのノードの数だけ Exchange Server エージェントが必要です。

Exchange のオフホストバックアップ

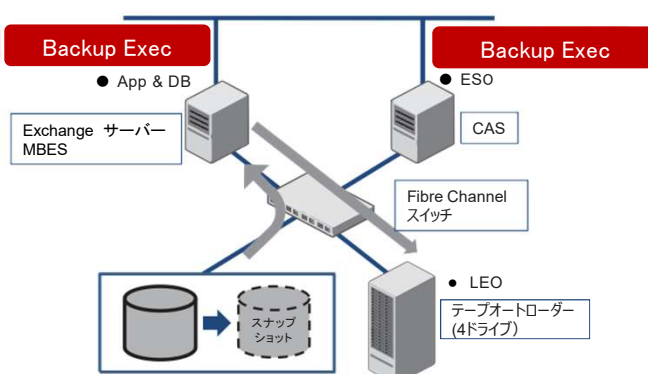


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Enterprise Server オプション	1
アプリケーション&データベースエージェント	1
Library Expansion オプション	3

Note: Exchange サーバーのオフホストバックアップでは、Exchange Server 2003 SP1 以上が必要です。
【オフホストバックアップでもGRTが使用できます】

Note: Enterprise Server オプションには、オフホストバックアップに必要な Advanced Disk-Based Backup オプションの機能が含まれます。メディアサーバーに Enterprise Server オプションが必要です。

【参考】Exchange のオンホストバックアップ

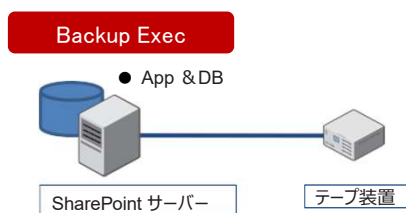


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	2
アプリケーション&データベースエージェント	1
Enterprise Server オプション	1
Library Expansion オプション	3

Note: 右側のバックアップサーバーは、Exchange サーバーのバックアップには使用されません。左側のバックアップサーバーとの対比の目的で書かれています。

※オンホストバックアップでは、アプリケーションサーバー(ここではExchange サーバー)がバックアップに関わる負荷を被るので、オフホストバックアップに比べアプリケーションサーバーの負荷が高くなります。

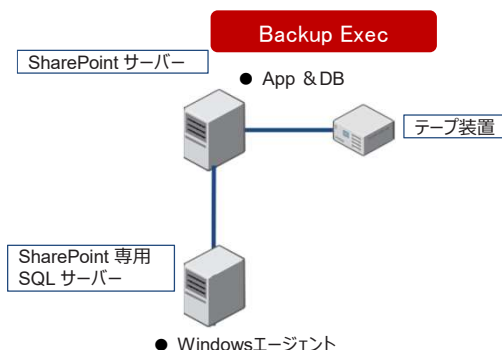
1) SharePoint サーバー 小規模構成 (SharePoint サーバー 1台)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1

Note: アプリケーション&データベースエージェントは、SharePoint サーバーのサーバーファーム単位に 1 つ必要です。サーバーファームが 2 台以上のサーバーで構築される場合、2 台目以降の追加サーバーごとに Windows エージェントが必要です。サーバーファーム内の SharePoint 専用 SQL サーバーの全体の保護には、SQL サーバー用の追加アプリケーション&データベースエージェントは不要です。

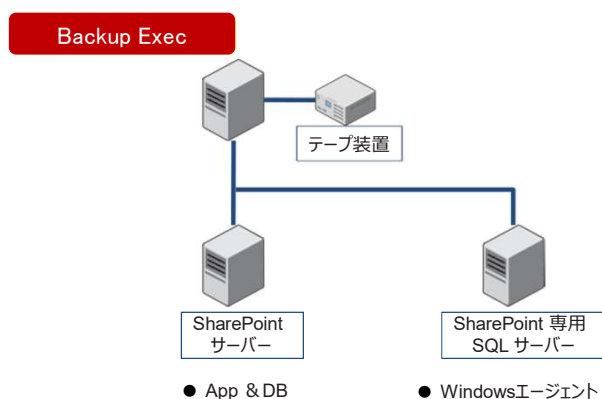
2) SharePoint サーバー 小規模構成 (リモート SQL サーバー 1台)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1
Windows エージェント	1

Note: 注意事項は 1) と同じです。

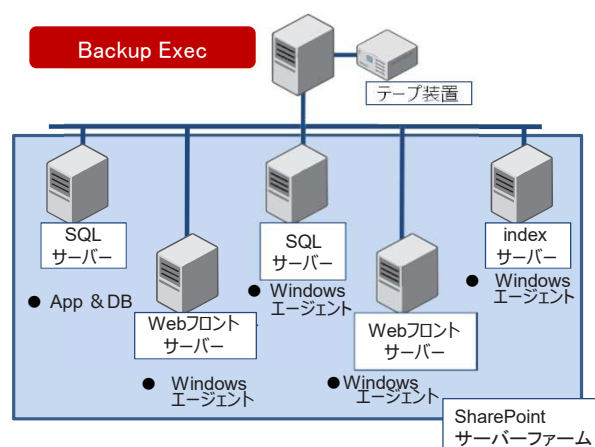
3) SharePoint サーバー 小規模構成 (リモート SPS/SQL サーバー 各1台)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1
Windows エージェント	1

Note: 注意事項は 1) と同じです。

4) SharePoint サーバー サーバーファーム構成

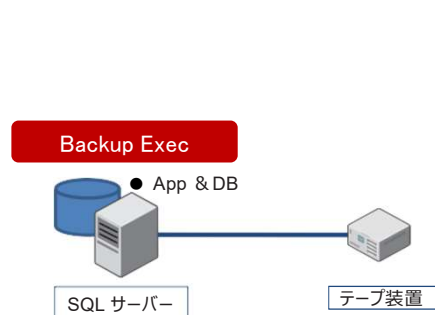


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	4
アプリケーション&データベースエージェント	1

Note: 注意事項は 1) と同じです。

<Backup Exec アプリケーション & データベースエージェント構成例>

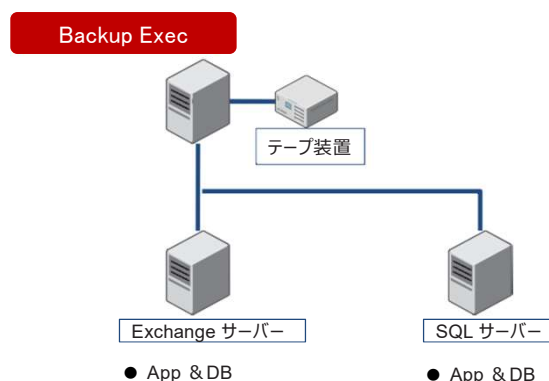
1台の SQL サーバーをバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1

Note: アプリケーション & データベース エージェントの課金単位は、対象のアプリケーション/データベースにより異なります。ライセンスガイドのアプリケーション & データベース エージェントの項をご参照ください。ちなみに、SQL Server はインスタンス単位でライセンスが必要です。

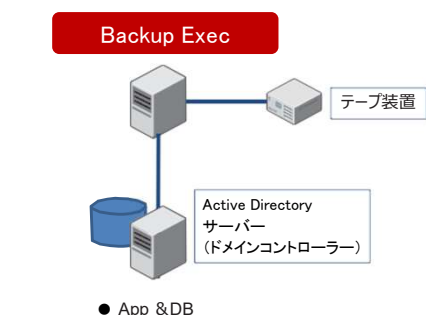
SQL サーバー + Exchange サーバー リモートサーバー 2台 (SQL 1台/Exchange 1台)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	2

Note: アプリケーション&データベースエージェントは、バックアップ対象となるリモートサーバー用のWindows エージェントの権利を含んでいます。上記の例では、SQL/Exchange サーバーにそれぞれ Windows エージェントをインストール可能です。Windows エージェントの権利のみを分離して利用することは出来ません。

1台の Active Directory サーバーでの使用

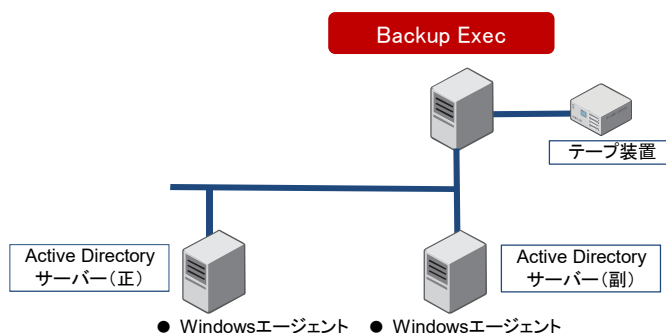


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント(※)	1

Note: Active Directoryの権限のある復元モードおよび権限のない復元モードを使用せずに、エージェントを利用してユーザー単位など、きめ細かなリカバリを再起動することなく行うことが可能です。

※) アプリケーション&データベースエージェントに含まれる Active Directoryエージェントは、きめ細かいリカバリを提供します。ただし、ドメインコントローラー全体のバックアップ、リカバリのみが必要な環境では、アプリケーション&データベースエージェントを利用せず、Windowsエージェントにて対応が可能です。

Active Directory サーバー2台構成での使用

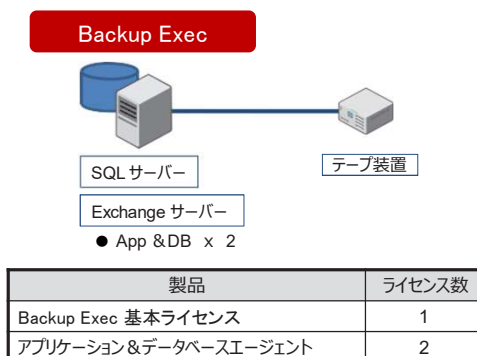


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windowsエージェント(※)	2

※) 上記は「権限のある復元モード」を使用したときの構成例です。この場合、アプリケーション&データベースエージェントを利用せず、Windowsエージェントにて対応が可能です。

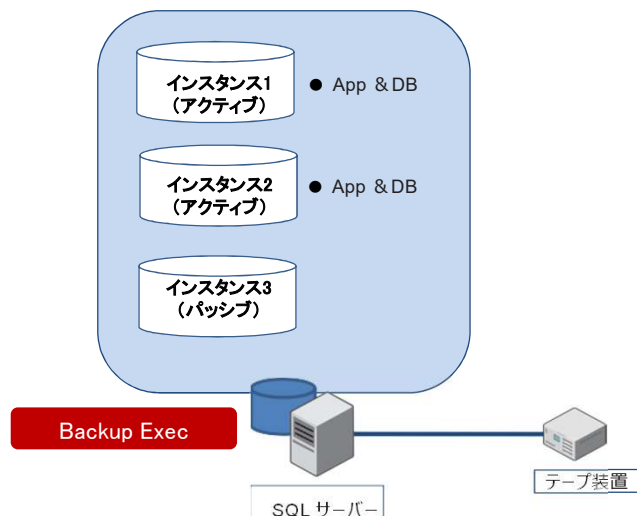
Active Directoryオブジェクト単位のリストアが必要であっても、正副構成であれば、通常はドメインコントローラー同士で情報が複製されるため、アプリケーション&データベースエージェントライセンス1つとWindowsエージェントライセンス1つで対応できます。

1台の SQL サーバー 兼 Exchange サーバー の バックアップ



Note: この構成のように1台のOS上に2つのバックアップ対象がある場合、アプリケーションエージェントは2つ必要です。(保護対象アプリケーションごとの必要数分が必要)

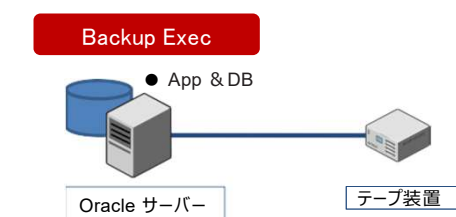
1台の SQL サーバーをバックアップ (複数インスタンスを使用している場合)



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	2

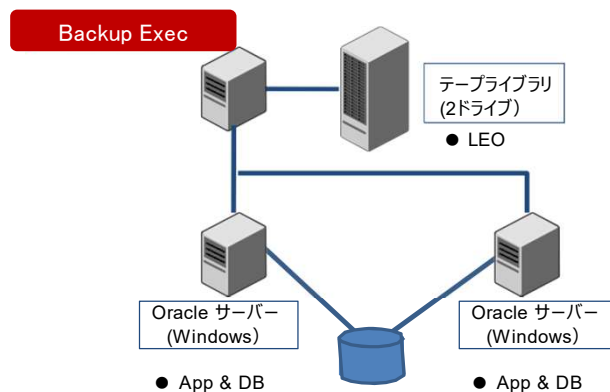
Note: SQL Server はインスタンス単位でライセンスが必要です。アクティブインスタンスのみに対して、アプリケーション&データベースエージェントのライセンスが必要となります。

1台の Oracle サーバーをバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1

Oracle RAC 2ドライブ/Oracle RAC (2 ノードクラスタ)

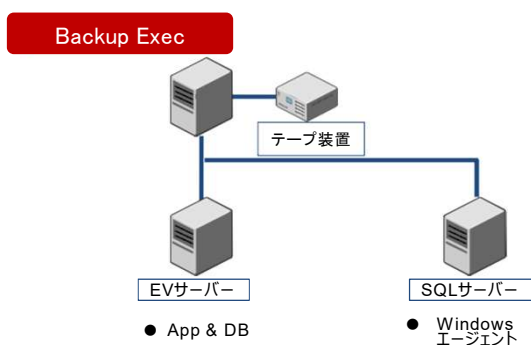


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	2
Library Expansion オプション	1

Note: アプリケーション&データベースエージェントは、Oracle をバックアップ対象とする場合、バックアップ対象となるリモートサーバー用の Windows エージェントまたは Linux エージェントの権利を含んでいます。Windows エージェントまたは Linux エージェントいずれかの排他利用となり、Linux エージェントは Linux 環境のみに使用可能です。上記の例では、Oracle サーバーにそれぞれ Windows エージェントをインストール可能です。

<Backup Exec アプリケーション & データベースエージェント構成例>

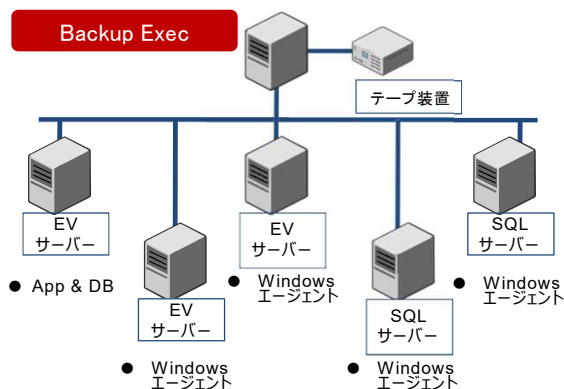
Enterprise Vault サーバー 最小構成



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1
Windows エージェント	1

Note: Enterprise Vault サーバー、SQL サーバーともに Enterprise Vault の構成サーバーであることから、2台目以降のすべてのサーバーに Windows エージェントが必要です。

Enterprise Vault サーバー マルチサーバー構成



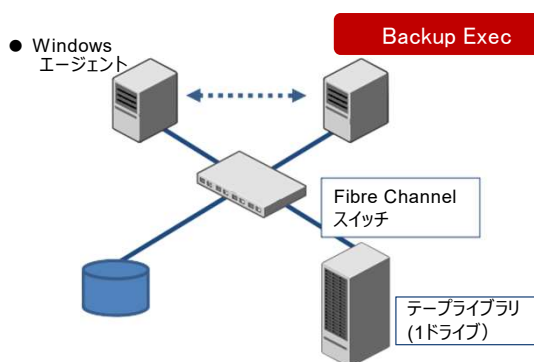
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1
Windows エージェント	4

<クラスタサーバーの保護>

【注意】 Backup Exec をクラスタ化する構成の場合は、いずれの構成においても Windows エージェントが最低1ライセンス必要になります。

具体的に必要なライセンス数は、各項目をご参照ください。

1) 2ノードクラスタ環境におけるローカルバックアップ Backup Exec をアクティブ/パッシブでクラスタ化



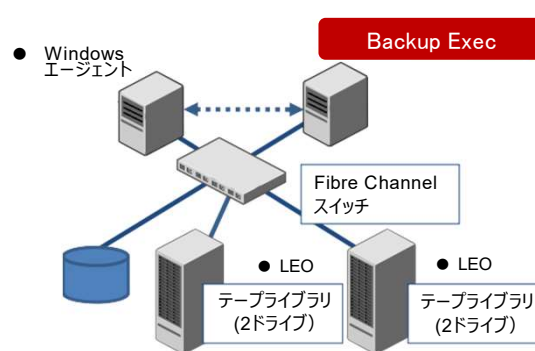
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	1

Note: クラスタ環境ではアクティブノードにのみライセンスが必要です。フェールオーバーにより、パッシブノードがアクティブになった場合、アクティブノードで使われたライセンスと同じライセンスが使われます。

Windows エージェントは、各ノードのローカルディスクおよび仮想ノードのバックアップを取得するために利用されます。

※Backup Exec がクラスタ化されている前提の構成、ライセンス数です。
※Backup Exec はアクティブ/パッシブのクラスタ化のみ対応しています。

2) クラスタ環境でのライブラリの利用 2ドライブライブラリ2台を SAN で接続

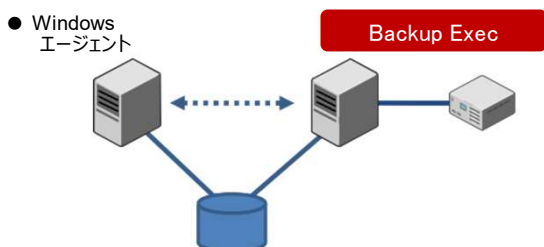


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Library Expansion オプション	2
Windows エージェント	1

Note: 注意事項は 1) と同じです。

※Backup Exec がクラスタ化されている前提の構成、ライセンス数です。
※Backup Exec はアクティブ/パッシブのクラスタ化のみ対応しています。

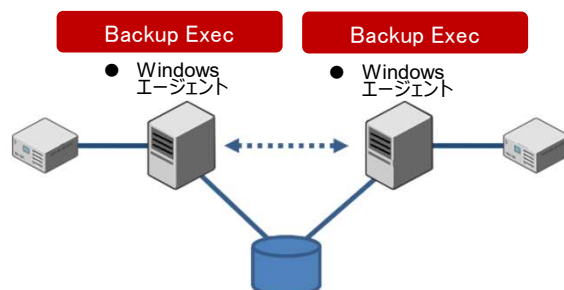
3) 2ノードクラスタ環境でのローカルバックアップ 片ノードのみに Backup Exec をインストール



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	1

Note: 各ノードのローカルリソースおよび、各ノードのローカルリソースとしてアクセス可能な 仮想マシンの共有ディスクがバックアップ可能です。
Backup Exec がインストールされているノードが停止した場合は、バックアップは取得 できません。

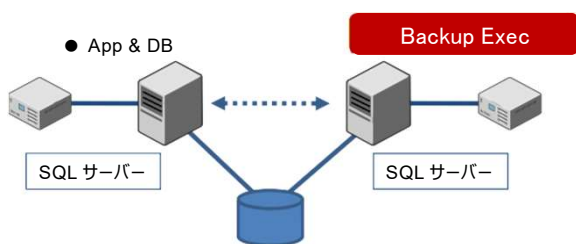
4) 2ノードクラスタ環境でのローカルバックアップ 両ノードに Backup Exec をインストール



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	2
Windows エージェント	2

Note: Backup Execをクラスタ化しない場合は、インストールしたいノード数分のBackup Exec 基本ライセンスが必要です。また、仮想マシンの共有ディスクのバックアップのために、クラスタのノード数分の Windows エージェントが必要です。

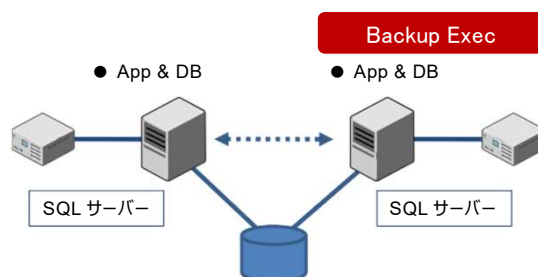
5) SQL サーバーがアクティブ/パッシブ構成で SQL サーバーのオンラインバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	1

Note: アプリケーション&データベースエージェントは、ライセンス対象サーバー用の Windows エージェントの権利を含みます。上記の例では、各ノードのSQL サーバーに Windows エージェントの権利を有します。
※Backup Exec がクラスタ化されている前提の構成、ライセンス数です。
※Backup Exec はアクティブ/パッシブのクラスタ化のみ対応しています。

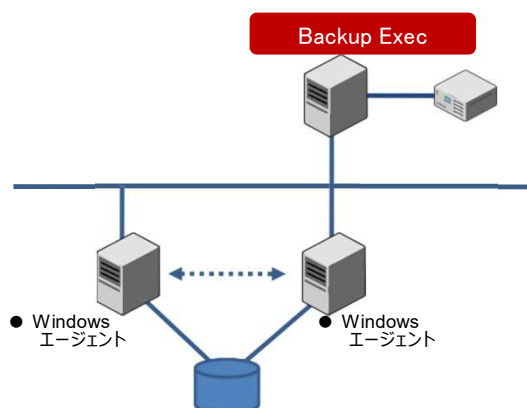
6) SQL サーバーがアクティブ/アクティブ構成での SQL サーバーのオンラインバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	2

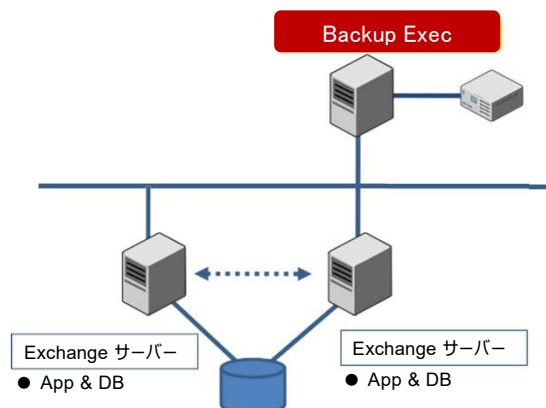
Note: 前項との差は、SQL側がアクティブ/アクティブのため、エージェントのみがアクティブノード 数分、2ライセンス必要となっている点です。
※Backup Exec がクラスタ化されている前提の構成、ライセンス数です。
※Backup Exec はアクティブ/パッシブのクラスタ化のみ対応しています。

7) 1 台の Backup Exec サーバーでアクティブ/アクティブのクラスタ環境をリモートバックアップ



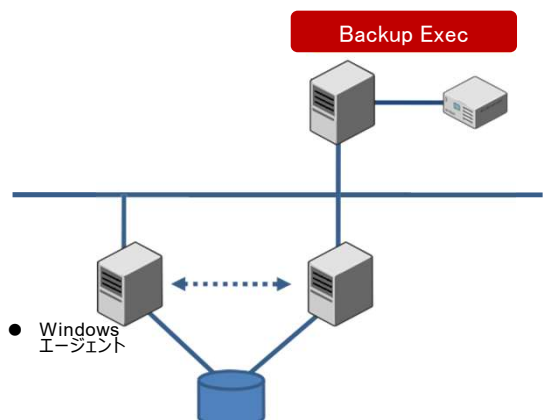
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	2

8) 1 台の Backup Exec サーバーでアクティブ/アクティブの Exchange クラスタ環境をリモートバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
アプリケーション&データベースエージェント	2

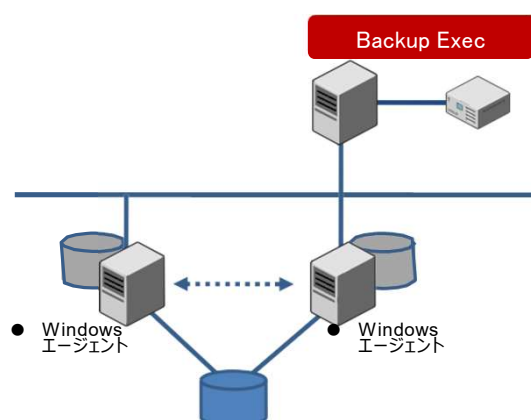
9) 1 台の Backup Exec サーバーでアクティブ/パッシブのクラスタ環境のアクティブ側だけをリモートバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	1

Note: クラスタ環境ではアクティブノードにのみライセンスが必要です。フェールオーバーにより、パッシブノードがアクティブになった場合、アクティブノードで使われたライセンスと同じライセンスが使われます。アクティブノードのローカルリソースとしてアクセス可能な仮想マシンの共有ディスク、および アクティブノードのローカルリソースがバックアップ可能です。パッシブノード側のバックアップには、別途 Windows エージェントライセンスの追加購入が必要です。

10) 1 台の Backup Exec サーバーでアクティブ/パッシブのクラスタ環境のリモートバックアップ+各ノードのローカルリソースのバックアップ



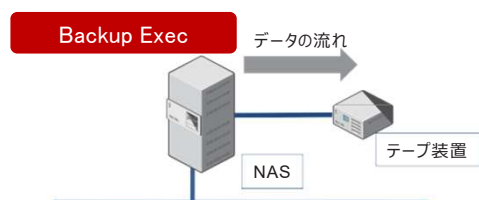
製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windows エージェント	2

Note: 注意事項は 9) と同じです。

<NAS 環境での構成例(Windows Storage Server の例)>

【注意】 Windows Storage Server については、各 OEM 提供ベンダーにおいて、サードパーティ製 アプリケーションのインストールを、使用許諾上認めていない場合があります。事前にベンダー側の使用許諾の内容をご確認いただくことをおすすめします。

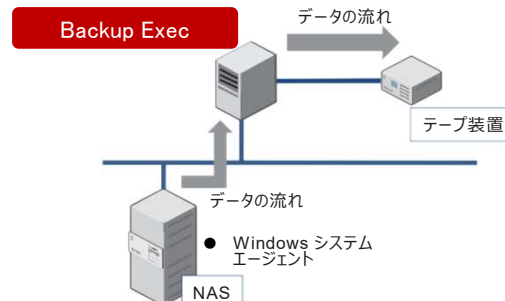
1) NAS に接続したテープ装置へ NAS 上のデータを直接バックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1

Note: Windows Storage Server を搭載したNAS装置に Backup Exec をインストールする基本的なバックアップ方法です。(Windows Storage Server を Backup Exec サーバーとして使用する構成)

2) NAS 上のデータをメディアサーバーに接続したテープ装置へリモートバックアップ

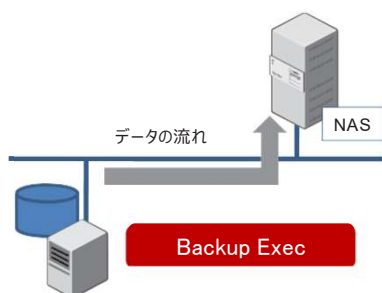


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windowsエージェント	1

Note: Windows Storage Server を搭載した NAS 装置からリモートバックアップを行う基本的な構成です。(NAS とは別に Backup Exec サーバーを使用する構成)

※ NAS 側に Windows エージェントを導入せずに、CIFS/SMB 共有を直接リモートバックアップすることも可能です。その場合でも Windows エージェントのライセンスは必要です。ただし、エージェントが存在しないため、バックアップが成功しても例外処理が記録されます。

3) サーバーのデータを NAS のディスクにバックアップ



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1

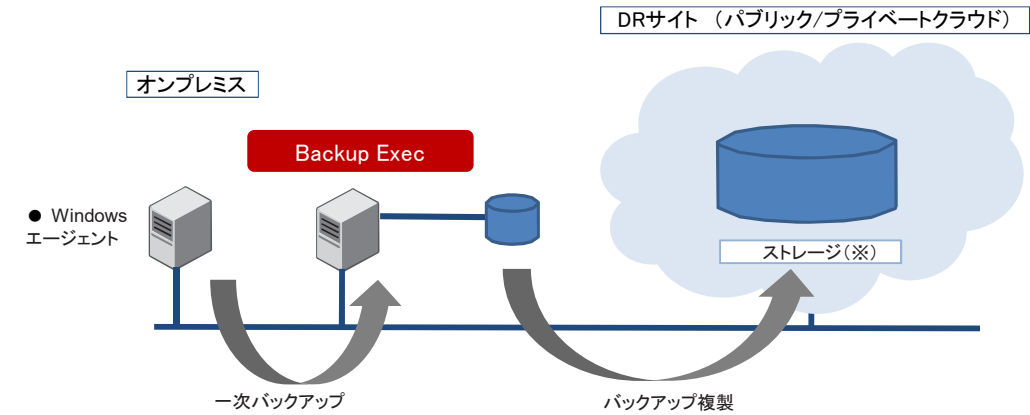
Note: NAS装置へディスクバックアップを行う構成です。ディスクへのバックアップ機能は、Backup Exec の標準機能です。

※)NAS上のCIFS/SMB共有を、「ディスクへのバックアップフォルダ」として設定します。

※)対象の NAS は Windows ベースであるか、Windows のファイルシステムと互換性のある装置である必要があります。Windows 環境との違いに起因する障害はサポートされません。事前検証の実施をおすすめします。

＜DRサイト向けバックアップ複製例＞

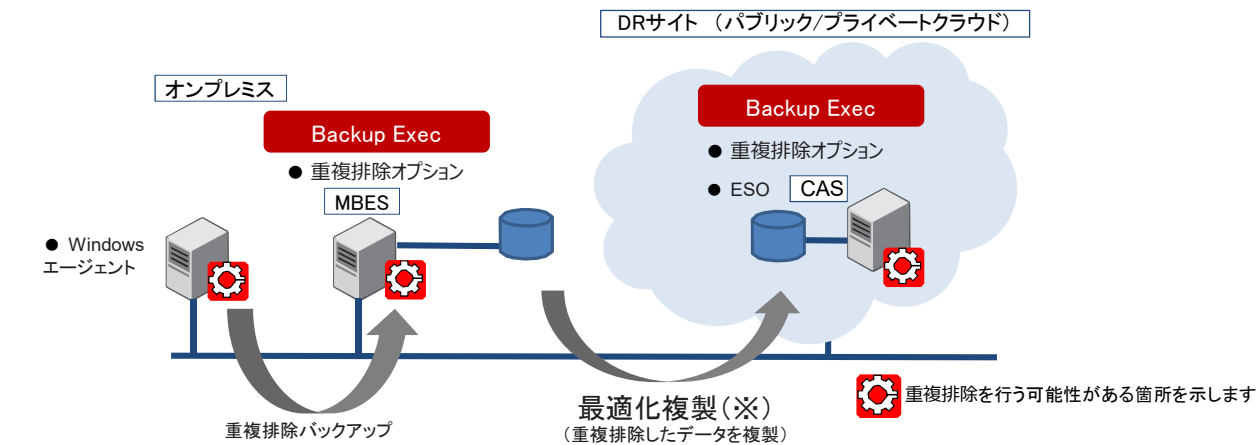
1) DRサイトにバックアップ複製



製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	1
Windowsエージェント	1

Note: DRサイトにあるストレージへの複製保存の場合、Backup Exec関連の追加ライセンスは不要です。
※)クラウドストレージに必要なライセンスはクラウドプロバイダーから調達する必要があります。

2) Backup Exec同士を利用したバックアップデータのDR対策

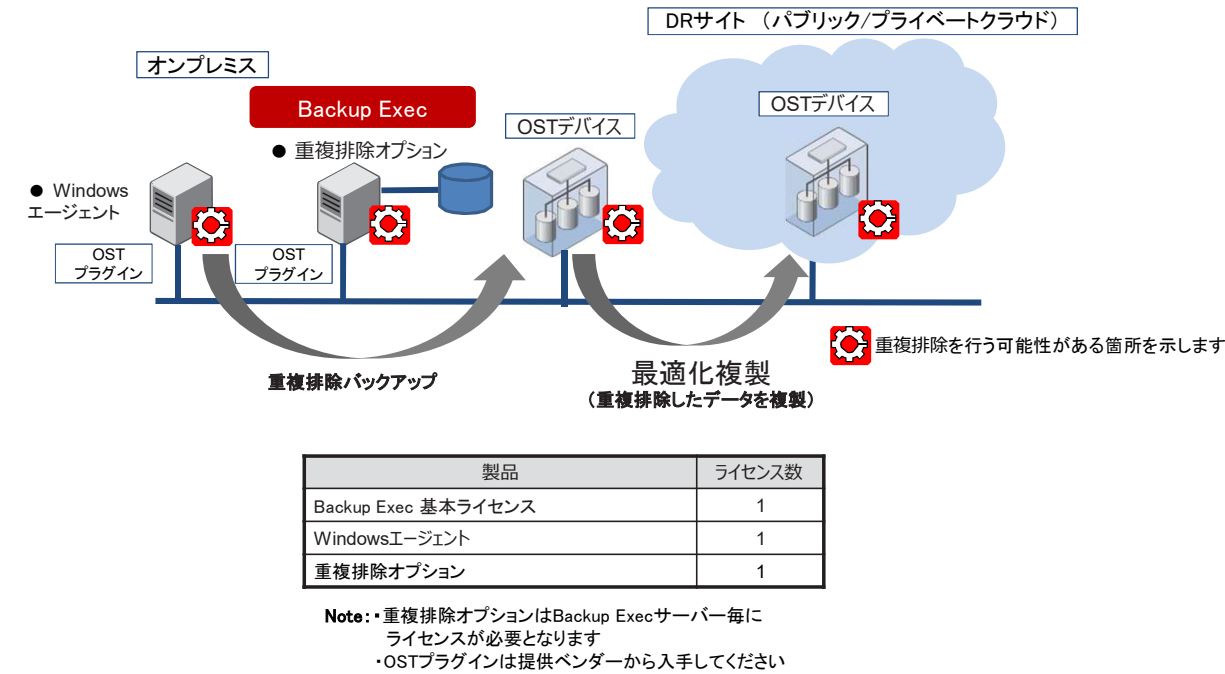


製品	ライセンス数
Backup Exec 基本ライセンス	2
Windowsエージェント	1
重複排除オプション	2
Enterprise Serverオプション (ESO)	1

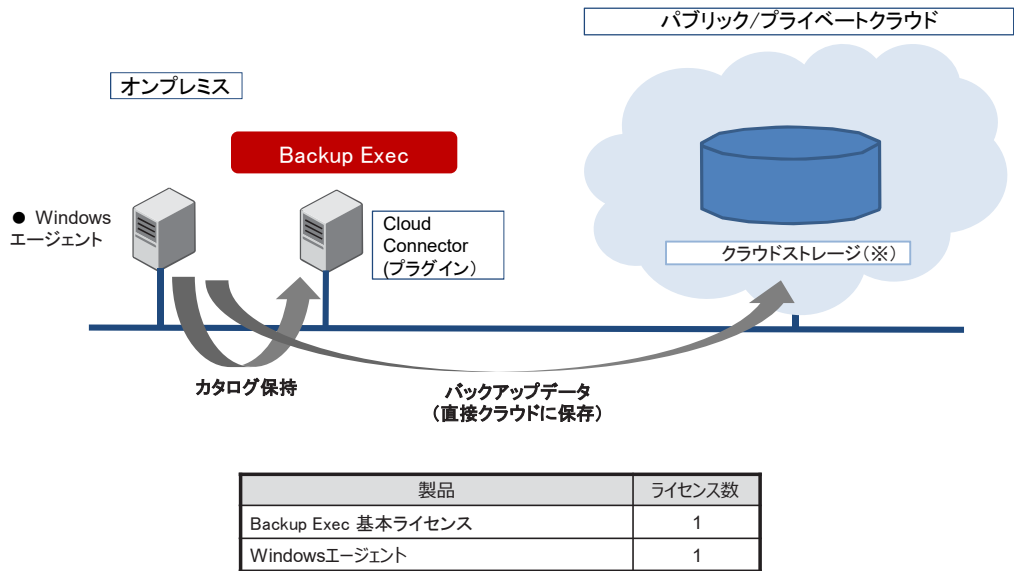
Note: ・重複排除オプションはBackup Execサーバー毎にライセンスが必要となります
・Backup Execサーバー同士で最適化複製を行う場合、両サーバー分の重複排除オプションライセンスが必要となります

＜DRサイト向けバックアップ複製例＞

3) OSTデバイスによるバックアップデータのDR対策

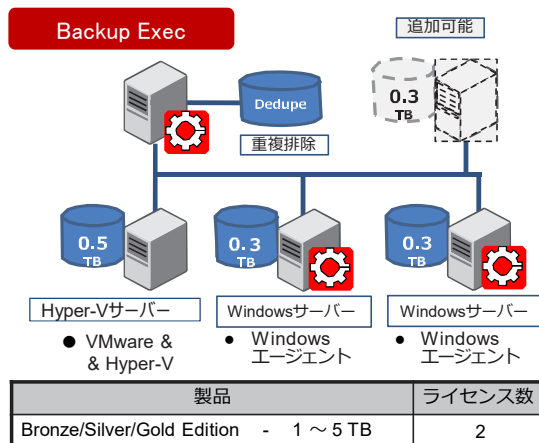


＜直接クラウドにバックアップデータを保存する構成例＞



<Bronze/Silver/Gold Edition 構成例>

Bronze/Silver/Gold Editionの基本的な計算例



※) Bronze/Silver/Gold Editionに含まれるエージェントやオプションはライセンスガイドの該当ページを参照

<データ量計算の内訳>

現時点でのバックアップ対象データ: 0.5+0.3+0.3	1.1 TB
年間のデータ増加見込み: 1.1×20%(※1)	0.22 TB
購入すべき対象データ量の合計	1.32 TB

(※1) 年間のデータ増加見込みが不明な場合、一般的な増加率として20%という値を用います。

Note:

- Bronze/Silver/Gold Editionライセンス1本で1TB分です。
- 必要なTB数量分のライセンス本数を購入します。
- フルバックアップ対象のデータが課金対象になります。(下図参照)
- 保存期間、バックアップ回数、増分/差分バックアップ等は課金時に考慮不要です。
- 現在のバックアップ対象データ量に、年間のデータ量の増加見込みを合算します。
- データ量の集計時、最後にTB単位に小数点以下を切り上げます。
- 購入数量が増えると、段階的に価格がディスカウントされます。価格表で購入数量に応じた価格帯を確認して、TB当たりの単価を確認してください。

<購入数量による価格の階層(注:2018年4月2日GA時の階層)>

- 1 ~ 5 TB
- 6 ~ 15 TB
- 16 ~ 25 TB
- 26 ~ 50 TB
- 51TB ~

• 適用される価格の階層は、SKU単位で判断する

• バックアップ対象データ量が増加した場合、1TB単位で追加購入します。

• その際の価格は、追加購入時の合計発注TB数の価格帯が基準になります。

• 1法人内の複数の拠点分を合算して購入可能です。

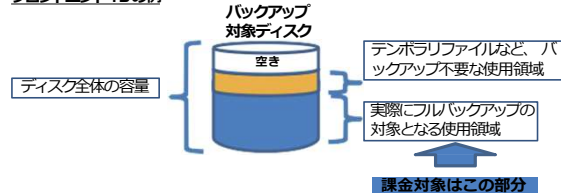
• バックアップ対象データ量が購入済みライセンス分を超過しない限り、許諾されている基本ライセンス/オプション/エージェントが本数無制限で利用可能です。

例えば、左図中の「追加可能」分のサーバーのバックアップが追加可能です。

• 1つのバックアップシステム内で、単体ライセンスとの混在利用はできません。

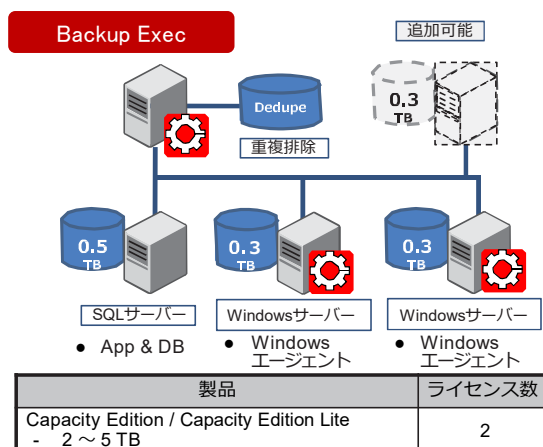
• Bronze/Silver Editionのライセンスに単体ライセンスのオプション/エージェントを個別追加することはできません。追加が必要な場合は、上位エディション(例: Bronze → Silver, Silver → Gold等)にクロスグレードしてください。有効なサポート契約期間内のみクロスグレード可能です。

フロントエンドTBの例



<Capacity Edition / Capacity Edition Lite 構成例>

基本的なCapacity Edition / Capacity Edition Liteでの計算例



※) Capacity Edition / Capacity Edition Liteに含まれるエージェントやオプションはライセンスガイドの該当ページを参照

<データ量計算の内訳>

現時点でのバックアップ対象データ: 0.5+0.3+0.3	1.1 TB
年間のデータ増加見込み: 1.1×20%(※1)	0.22 TB
購入すべき対象データ量の合計	1.32 TB

(※1) 年間のデータ増加見込みが不明な場合、一般的な増加率として20%という値を用います。

Note:

• Capacity Edition / Capacity Edition Lite ライセンス1本で1TB分です。

• 必要なTB数量分のライセンス本数を購入します。

• フルバックアップ対象のデータが課金対象になります。(下図参照)

• 保存期間、バックアップ回数、増分/差分バックアップ等は課金時に考慮不要です。

• 現在のバックアップ対象データ量に、年間のデータ量の増加見込みを合算します。

• データ量の集計時、最後にTB単位に小数点以下を切り上げます。

• 購入数量が増えると、段階的に価格がディスカウントされます。価格表で購入数量に応じた価格帯を確認して、TB当たりの単価を確認してください。

<購入数量による価格の階層(注:2018年4月2日GA時の階層)>

- 1 TB
- 2 ~ 5 TB
- 6 ~ 15 TB
- 16 ~ 25 TB
- 26 TB 以上

• 適用される価格の階層は、SKU単位で判断する

• バックアップ対象データ量が増加した場合、1TB単位で追加購入します。その際の価格は、追加購入時の合計発注TB数の価格帯が基準になります。

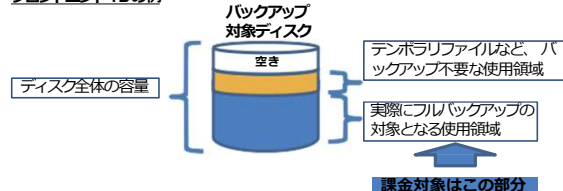
• 1法人内の複数の拠点分を合算して購入可能です。

• バックアップ対象データ量が購入済みライセンス分を超過しない限り、許諾されている基本ライセンス/オプション/エージェントが本数無制限で利用可能です。

例えば、左図中の「追加可能」分のサーバーのバックアップが追加可能です。

• 1つのバックアップシステム内で、単体ライセンスとの混在利用はできません。

フロントエンドTBの例



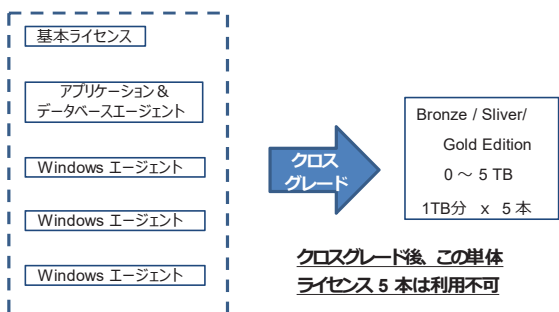
<Bronze/Silver/Gold Edition へのクロスグレード>

※) 移行の対象となる製品はライセンスガイドの該当ページを参照

Bronze/Silver/Gold Editionへのクロスグレードの例

— 全ての単体ライセンスをクロスグレードする例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス、合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



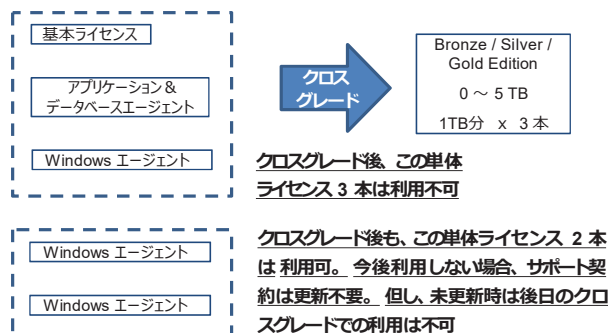
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Bronze / Silver / Gold Edition 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常の Bronze / Silver / Gold Edition を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Bronze / Silver / Gold Edition のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Bronze / Silver / Gold Edition のサポート更新費用が必要となります。
- ・単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Bronze / Silver / Gold Edition の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・クロスグレードの注意点は Bronze / Silver / Gold Edition で共通です。

Bronze / Silver / Gold Editionへのクロスグレードの例

— 一部のライセンスをクロスグレード、残りを利用しない例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス、合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



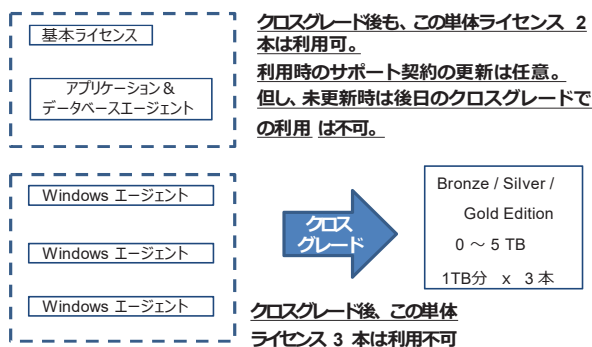
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Bronze / Silver / Gold Edition 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常の Bronze / Silver / Gold Edition を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Bronze / Silver / Gold Edition のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Bronze / Silver / Gold Edition のサポート更新費用が必要となります。
- ・単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Bronze / Silver / Gold Edition の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・クロスグレードの注意点は Bronze / Silver / Gold Edition で共通です。

Bronze / Silver / Gold Edition へのクロスグレードの例

— 一部のライセンスをクロスグレード、残りを利用する例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス、合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



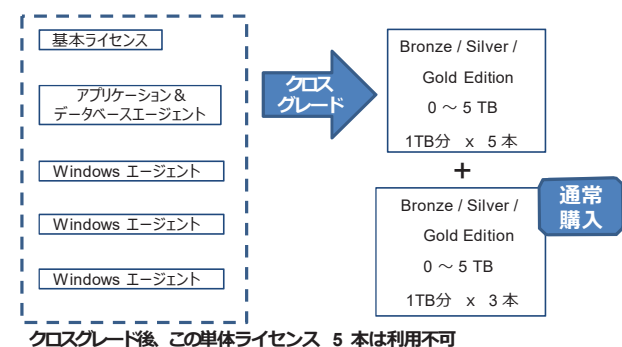
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Bronze / Silver / Gold Edition 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常の Bronze / Silver / Gold Edition を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Bronze / Silver / Gold Edition のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Bronze / Silver / Gold Edition のサポート更新費用が必要となります。
- ・単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Bronze / Silver / Gold Edition の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・クロスグレードの注意点は Bronze / Silver / Gold Edition で共通です。

Bronze / Silver / Gold Edition へのクロスグレードの例

— 全てのライセンスをクロスグレード、更に 3TB 分追加購入 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス、合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Bronze / Silver / Gold Edition 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常の Bronze / Silver / Gold Edition を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Bronze / Silver / Gold Edition のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Bronze / Silver / Gold Edition のサポート更新費用が必要となります。
- ・単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Bronze / Silver / Gold Edition の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・クロスグレードの注意点は Bronze / Silver / Gold Edition で共通です。
- ・適用される価格の階層はSKU単位で決まる

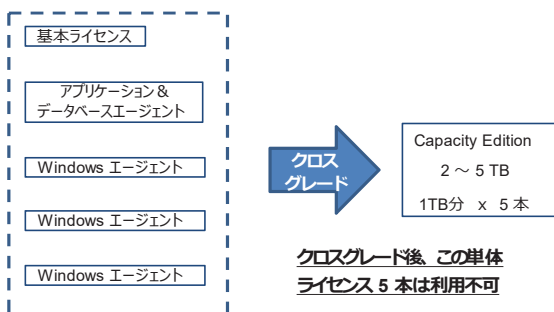
<Capacity Edition へのクロスグレード>

※) 移行の対象となる製品はライセンスガイドの該当ページを参照

Capacity Edition へのクロスグレードの例

— 全ての単体ライセンスをクロスグレードする例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス 合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



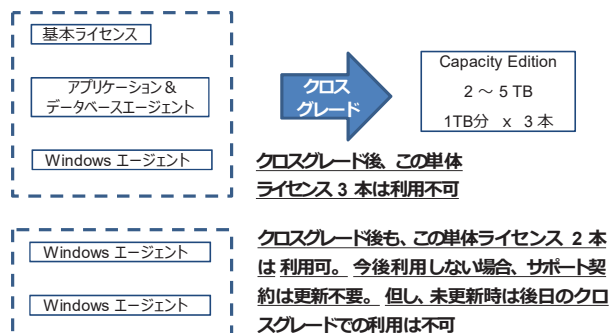
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Capacity Edition / Capacity Edition Lite 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常のCapacity Edition/Capacity Edition Lite を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート更新費用が必要となります。単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Capacity Edition / Capacity Edition Lite の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・Capacity Edition Lite のクロスグレードの注意点は Capacity Edition と同じです。

Capacity Edition へのクロスグレードの例

— 一部のライセンスをクロスグレード、残りを利用しない例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス 合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



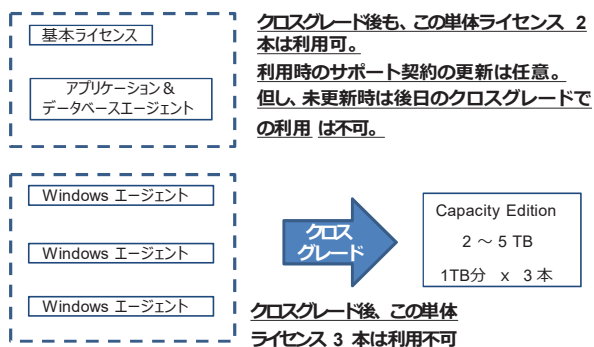
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Capacity Edition / Capacity Edition Lite 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常のCapacity Edition/Capacity Edition Lite を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート更新費用が必要となります。単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Capacity Edition / Capacity Edition Lite の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・Capacity Edition Lite のクロスグレードの注意点は Capacity Edition と同じです。

Capacity Edition へのクロスグレードの例

— 一部のライセンスをクロスグレード、残りを利用する例 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス 合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。



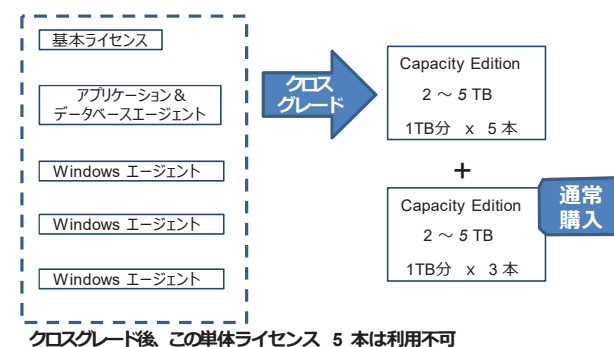
Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Capacity Edition / Capacity Edition Lite 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常のCapacity Edition/Capacity Edition Lite を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート更新費用が必要となります。単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Capacity Edition / Capacity Edition Lite の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・Capacity Edition Lite のクロスグレードの注意点は Capacity Edition と同じです。

Capacity Edition へのクロスグレードの例

— 全てのライセンスをクロスグレード、更に 3TB 分追加購入 —

現在所有しているクロスグレード対象の単体ライセンス 合計 5 本
※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。

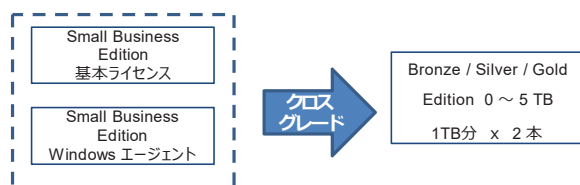


Note :

- ・2018年4月2日までに購入した対象ライセンス 1 本で、Capacity Edition / Capacity Edition Lite 1 TB 分にクロスグレード可能です。不足時は、通常のCapacity Edition/Capacity Edition Lite を追加購入可能です。
- ・所有する対象ライセンスの全てもしくは任意の一部をクロスグレード可能です。
- ・クロスグレード後、その対象となった単体ライセンスは破棄され使用できません。
- ・Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート契約期間は、クロスグレードの契約時から開始されます。
- ・クロスグレードの翌年度のサポート契約の更新時は、Capacity Edition / Capacity Edition Lite のサポート更新費用が必要となります。単体ライセンス利用時のサポート更新費用とは異なります。
- ・クロスグレードで入手した Capacity Edition / Capacity Edition Lite の注意点は、通常購入した場合と同じです。
- ・Capacity Edition Lite のクロスグレードの注意点は Capacity Edition と同じです。

<Small Business Edition からのクロスグレード>

Bronze/Silver/Gold Editionへのクロスグレードの例



・条件

Backup Exec Small Business Edition も、通常の単体ライセンスと同じ条件で Bronze / Silver / Gold Edition にクロスグレード可能です。

Small Business Edition の基本ライセンス/Windows エージェントはそれぞれ1TB 分のクロスグレードに利用可能です。他のクロスグレード対象の単体ライセンスを お持ちであれば、それも合わせて利用可能です。

※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。

・機能

Backup Exec Small Business Edition に含まれるオプション/エージェントの機能は、Bronze / Silver / Gold Edition に全て含まれます。今後必要となるオプションにより、Bronze / Silver / Gold Edition を 選択してください。

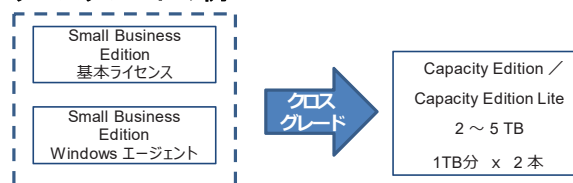
・必要なライセンス数 - フロントエンドTB

バックアップ対象のデータ容量(フロントエンドTB)に応じてクロスグレードしてください。クロスグレード対象分では Bronze / Silver /Gold Editionのライセンス数が不足する場合は、単体ライセンス同様に追加購入が可能です。

Note :

- ・各種注意事項は、単体ライセンスのクロスグレードのページをご参照ください。
- ・フロントエンドTB の考え方は、Capacity Edition の説明をご参照ください。

Capacity Edition / Capacity Edition Liteへのクロスグレードの例



・条件

Backup Exec Small Business Edition も、通常の単体ライセンスと同じ条件で Capacity Edition /Capacity Edition Lite にクロスグレード可能です。

Small Business Edition の基本ライセンス/Windows エージェントはそれぞれ1TB 分のクロスグレードに利用可能です。他のクロスグレード対象の単体ライセンスを お持ちであれば、それも合わせて利用可能です。

※) 各ライセンスのサポート契約期間中のみ、クロスグレード可能。

・機能

Backup Exec Small Business Edition に含まれるオプション/エージェントの機能は、Capacity Edition /Capacity Edition Lite に全て含まれます。今後必要となるオプションにより、Capacity Edition /Capacity Edition Lite を 選択してください。

・必要なライセンス数 - フロントエンドTB

バックアップ対象のデータ容量(フロントエンドTB)に応じてクロスグレードしてください。クロスグレード対象分では Capacity Edition /Capacity Edition Lite のライセンス数が不足する場合は、単体ライセンス同様に追加購入が可能です。

Note :

- ・各種注意事項は、単体ライセンスのクロスグレードのページをご参照ください。
- ・フロントエンドTB の考え方は、Capacity Edition の説明をご参照ください。

付録2:

CORPORATE

価格表

Veritas Backup Exec

永続ライセンス

製品名称	区分	ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
		型番	メーカー希望 小売価格	型番	メーカー希望 小売価格
Bronze Edition (1TB)※	新規／追加 (1年間)	20695-M0776	¥ 194,400	20694-M0776	¥ 199,260
	更新 (1年間)	20691-M0772-13	¥ 32,400	20691-M0772-23	¥ 37,260
Silver Edition (1TB)※	新規／追加 (1年間)	20697-M0776	¥ 244,800	20696-M0776	¥ 250,920
	更新 (1年間)	20692-M0772-13	¥ 40,800	20692-M0772-23	¥ 46,920
Gold Edition (1TB)※	新規／追加 (1年間)	20699-M0776	¥ 338,400	20698-M0776	¥ 346,860
	更新 (1年間)	20693-M0772-13	¥ 56,400	20693-M0772-23	¥ 64,860

※) バックアップ対象データ量の増加に応じ、段階的にボリュームディスカウントが適用されます。上記は1TBのみご発注される場合の単価です。

サブスクリプションライセンス

製品名称	区分	ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
		型番	メーカー希望 小売価格	型番	メーカー希望 小売価格
Bronze Edition (1TB)※	1年間	—	—	19787-M0776	¥ 56,200
Silver Edition (1TB)※	1年間	—	—	19788-M0776	¥ 70,600
Gold Edition (1TB)※	1年間	—	—	19789-M0776	¥ 99,400

※) バックアップ対象データ量の増加に応じ、段階的にボリュームディスカウントが適用されます。上記は1TBのみご発注される場合の単価です。

補足：型番とメーカー希望小売価格は、ご利用される製品の全てのバージョンに共通のものとなります。

メーカー希望小売価格には消費税は含みません。

注) 本資料の記載内容は、2018年11月現在のものです。製品仕様/価格などの内容は、予告無く変更される場合があります。

上記価格表に記載の無い製品の価格等は、ご購入元/仕入れ元の販売店様、もしくは弊社購入前窓口 ペリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。

付録2:

CORPORATE

価格表

Veritas Backup Exec

製品名称	区分	ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
		型番	メーカー希望小売価格	型番	メーカー希望小売価格
Capacity Edition (1TB)※	新規／追加 (1年間)	14734-M0224	¥ 538,320	13667-M0224	¥ 551,778
	更新 (1年間)	12574-M0220-13	¥ 89,720	12574-M0220-23	¥ 103,178
Capacity Edition Lite (1TB)※	新規／追加 (1年間)	13097-M0224	¥ 389,400	13098-M0224	¥ 399,135
	更新 (1年間)	11460-M0220-13	¥ 64,900	11460-M0220-23	¥ 74,635

※) バックアップ対象データ量の増加に応じ、段階的にボリュームディスクカウントが適用されます。上記は1TBのみご注文される場合の単価です。

製品名称	区分	ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
		型番	メーカー希望小売価格	型番	メーカー希望小売価格
V-Ray Edition (1CPU)	新規／追加 (1年間)	17735-M0008	¥ 228,000	17736-M0008	¥ 233,700
	更新 (1年間)	17737-M1-13	¥ 38,000	17737-M1-23	¥ 43,700

製品名称	区分	ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
		型番	メーカー希望小売価格	型番	メーカー希望小売価格
基本ライセンス	新規／追加 (1年間)	11482-M0008	¥ 184,680	13670-M0008	¥ 189,297
	更新 (1年間)	13811-M1-13	¥ 30,780	13811-M1-23	¥ 35,397
オプション		ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
Enterprise Server オプション	新規／追加 (1年間)	13118-M0008	¥ 556,320	13683-M0008	¥ 570,228
	更新 (1年間)	14040-M1-13	¥ 92,720	14040-M1-23	¥ 106,628
Library Expansion オプション	新規／追加 (1年間)	14217-M0008	¥ 173,880	11094-M0008	¥ 178,227
	更新 (1年間)	12746-M1-13	¥ 28,980	12746-M1-23	¥ 33,327
NDMP オプション	新規／追加 (1年間)	14896-M0008	¥ 366,960	14736-M0008	¥ 376,134
	更新 (1年間)	14356-M1-13	¥ 61,160	14356-M1-23	¥ 70,334
重複排除 オプション	新規／追加 (1年間)	12051-M0008	¥ 272,280	14208-M0008	¥ 279,087
	更新 (1年間)	14749-M1-13	¥ 45,380	14749-M1-23	¥ 52,187
VTL Unlimited Drive オプション	新規／追加 (1年間)	14572-M0008	¥ 305,040	14738-M0008	¥ 312,666
	更新 (1年間)	12423-M1-13	¥ 50,840	12423-M1-23	¥ 58,466
エージェント		ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
Windows エージェント	新規／追加 (1年間)	14209-M0008	¥ 110,040	13131-M0008	¥ 112,791
	更新 (1年間)	13813-M1-13	¥ 18,340	13813-M1-23	¥ 21,091
Linux エージェント	新規／追加 (1年間)	12308-M0008	¥ 73,440	10929-M0008	¥ 75,276
	更新 (1年間)	11212-M1-13	¥ 12,240	11212-M1-23	¥ 14,076
VMware & Hyper-V エージェント	新規／追加 (1年間)	14212-M0008	¥ 281,040	10931-M0008	¥ 288,066
	更新 (1年間)	12303-M1-13	¥ 46,840	12303-M1-23	¥ 53,866
Linux Server リモートメディア エージェント	新規／追加 (1年間)	12060-M0008	¥ 147,960	12590-M0008	¥ 151,659
	更新 (1年間)	14358-M1-13	¥ 24,660	14358-M1-23	¥ 28,359
アプリケーション&データベース エージェント	新規／追加 (1年間)	12594-M0008	¥ 184,680	13112-M0008	¥ 189,297
	更新 (1年間)	12593-M1-13	¥ 30,780	12593-M1-23	¥ 35,397

補足：型番とメーカー希望小売価格は、ご利用される製品の全てのバージョンに共通のものとなります。

メーカー希望小売価格には消費税は含まれません。

注) 本資料の記載内容は、2018年11月時点のものです。製品仕様/価格などの内容は、予告無く変更される場合があります。

上記価格表に記載の無い製品の価格等は、ご購入元/仕入れ元の販売店様、もしくは弊社購入前窓口 ペリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。

VERITAS™

© 2019 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas、Veritasロゴは、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

ベリタステクノロジーズ合同会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ4F

<https://www.veritas.com/ja/jp>

ベリタスセールスインフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-907-000 (IP電話からは 03-4531-1799)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00

(土日祝日、年末年始を除く)

お問い合わせ